財務省委託

広報資料の改善を目的とした各種調査

総合報告書

2020年3月31日

“Fielding for REALITY”
株式会社サーベイリサーチセンター
SURVEY RESEARCH CENTER CO.,LTD.

指標項目結果（パンフレット確認前後の変化）

・パンフレットの効果を測定する設問は、「日本の財政に関する興味・関心（記入用紙にて回答を聴取）」および「財政に関する4つの用語」に対する認知や理解等をヒアリング
　また、保護者についても、「日本の財政についての理解」と「日本の財政に関する興味・関心」を実施　※いずれも記入用紙にて回答を聴取
・すべての項目において、パンフレットを読んだ後で、平均点が大きく高くなっている。
・「日本の財政に関する興味・関心」は、子どものほうがよりパンフレットを読む前後での平均点の差が大きい
・4つのワードについて見ると、「国の借金について」の理解が、パンフレットを読む前後での平均点の差が大きい

	項目	パンフレット	平均点
子ども	「財政」という言葉の認知および理解　（1～6点）	読む前	3.35
		読んだ後	4.78
	「歳出」という言葉の認知および内容の理解　（1～6点）	読む前	3.52
		読んだ後	4.96
	「歳入」という言葉の認知および内容の理解　（1～6点）	読む前	3.91
		読んだ後	5.00
	「国の借金」に関する内容の理解　（1～6点）	読む前	3.13
		読んだ後	4.61
	日本の財政に関する興味・関心	読む前	2.61
	（「ない　1」「2」「3」「4」「ある　5」）	読んだ後	3.74
保護者	日本の財政についての理解　※11項目平均	読む前	2.14
	（「言葉自体を知らない　1」「言葉を聞いたことがある程度　2」「内容をまあ知っている　3」「内容を人に説明できるくらい詳しい　4」）	読んだ後	2.99
	日本の財政に関する興味・関心	読む前	4.00
	（「ない　1」「2」「3」「4」「ある　5」）	読んだ後	4.17

パンフレット確認前後で、
平均点がすべての項目で増加
差が最も大きかったのは「国の借金について」

パンフレットを読む前は2点台（興味・関心なし寄りの値）だった平均点が、読後は4点台弱（興味・関心あり寄りの値）まで向上

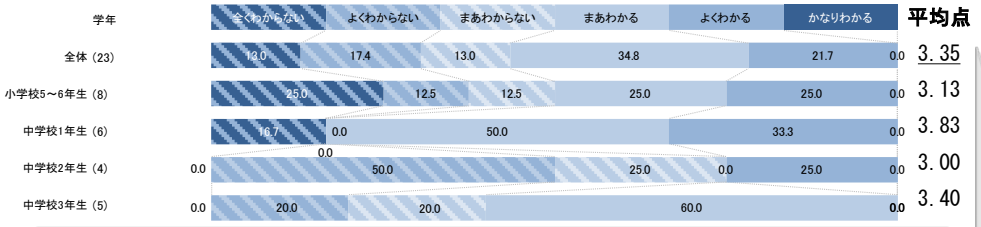
パンフレット読後、日本の財政に関する「理解」および「興味・関心」が向上

パンフレット確認前後の指標変化（子ども） ※財政・歳出

・「財政」という言葉の認知および理解は、平均点がパンフレット読前の3.35から読後4.78に向上（1.43ポイント増） ※すべての学年で1ポイント以上向上
・ヒアリング時には、「お金」「公共サービス」といった言葉が挙がった
・「歳出」という言葉の認知および理解は、平均点がパンフレット読前の3.52から読後4.96に向上（1.44ポイント増） ※すべての学年で1ポイント以上向上
・ヒアリング時には、「予算」「社会保障」といった言葉が挙がった

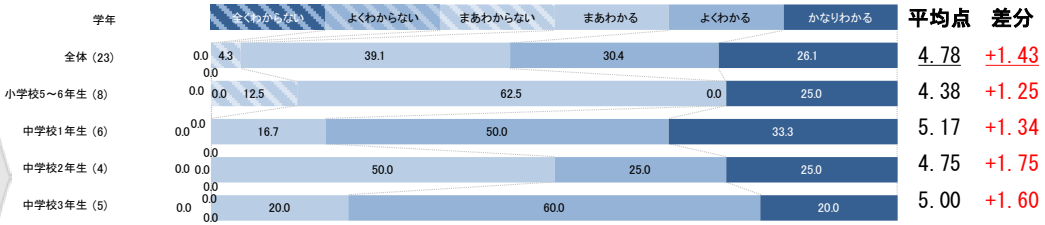
「財政」という言葉の認知および理解

パンフレット読前



＜ヒアリング内容（理解度等）＞
・「国のお金のこと」と回答。（多数）
・ニュースで聞いたことがある。（多数）
・塾（私立中学受験）の社会の授業でやった。（小6）
・学校の授業で聞いたことあるぐらい。内容はよくわからない。（多数）
・学校では習っておらず、ピンとくる言葉はない。（小5、中2他）

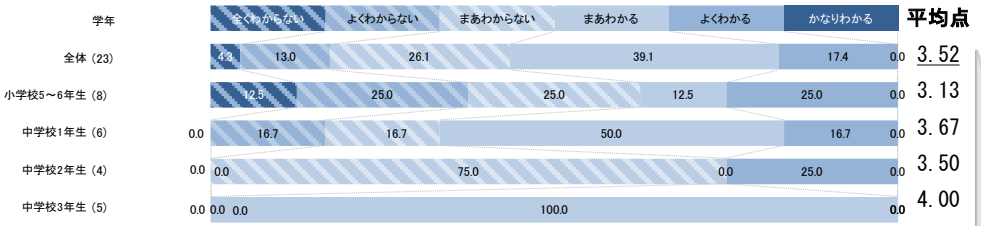
パンフレット読後



＜ヒアリング内容（理解度等）＞
・「公共サービス」はみんなのためのものということがわかった。（多数）
・「公共サービス」について「教育」「医療」等の用語が出てきた。（多数）
・財政とは、国が必要なところにお金をつけることだと理解した。（中2）
・財政についてわかった。ただ説明するのは難しい。（中2）
・少しわかったが、全般を通じてわかりにくい。（小6）
・一人あたりのサービスの金額はわかりやすい。また絵もわかりやすかった。（中1）
・「②医療費」と「③道路整備等」はイラストだけではわかりづらかった。（小6）

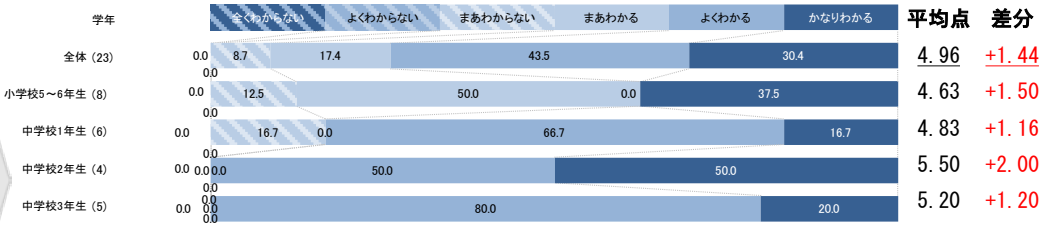
「歳出」という言葉の認知および理解

パンフレット読前



＜ヒアリング内容（理解度等）＞
・「歳出」は聞いたことない、「予算」はニュースで聞いたことがあると回答。（多数）
ただし、予算の規模については、わからない。（多数）
・「予算」は、令和2年の予算についてのニュースを見て知っていた。（中2）
・「（歳出の）円グラフ」を見たことがあると回答。（小6）

パンフレット読後



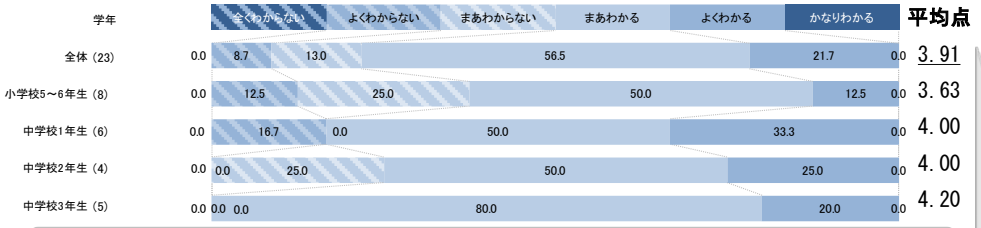
＜ヒアリング内容（理解度等）＞
・社会保障に一番使われていると回答。（多数）
・「社会保障」は「医療」や「年金」等であることがわかった。（小6）
・国のお金の使い道として、多い順から「社会保障」「地方への交付金」「公共事業」「農業」「防衛」「教育」といった用語が出てき、それぞれ意味も理解できていた。（中2）
・「地方交付金」は読む前は用語すら知らなかったが、理解できた。（小5）
・「子ども・子育て」のイラストはわかりやすかったが、他の絵はわかる様なわからない様な感じ。（小6）

パンフレット確認前後の指標変化（子ども） ※歳入・国の借金

・「歳入」という言葉の認知および理解は、平均点がパンフレット読前の3.91から読後5.00に向上（1.09ポイント増） ※すべての学年で1ポイント以上向上
・ヒアリング時には、「消費税」「所得税」などの様々な種類の税の名前が挙がってきた
・「国の借金」という言葉の理解は、平均点がパンフレット読前の3.13から読後4.61に向上（1.48ポイント増） ※すべての学年で1ポイント以上向上
・読前は「国が借金していることは知らなかった」という意見が多かった　読後は「ワニロ」「富士山」「エベレスト」等のパンフレットの挿絵に関する意見が多く挙がってきた

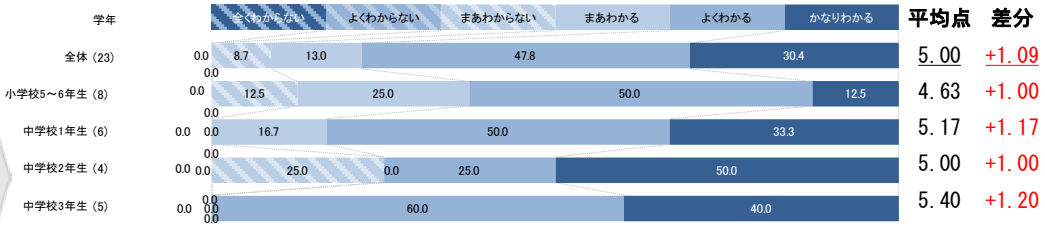
「歳入」という言葉の認知および理解

パンフレット読前



＜ヒアリング内容（理解度等）＞
・「歳入」という用語は知らなかったが、税金という用語は知っていた。（多数）
・「消費税」「所得税」という用語が出てきたが、「所得税」の意味は理解できておらず。（多数）
・「消費税」「所得税」「固定資産税」という用語が出てきた。租税教室で習ったため、「固定資産税」を覚えていた。（中2）
・塾の社会の時間に教わった。（小5）

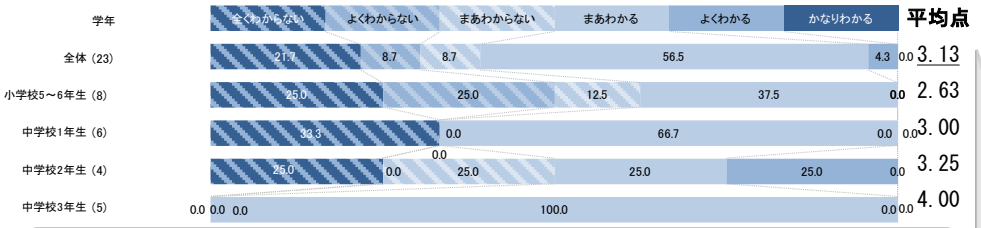
パンフレット読後



＜ヒアリング内容（理解度等）＞
・多数理解できた税の種類も増えた。（多数）
・税の種類として「消費税」「所得税」という用語が出てきた。（それぞれある程度意味も理解できていた）（中2）
・読む前は知らなかった「法人税」「揮発油税」について理解できた。（中2）
・「揮発油税」は初めて知った、その他の税は授業や普段の生活のなかで見たり聞いたりしていた。（中3）
・消費税率引上げについて税率、軽減税率は知っていた。引上げ時期は知らなかった。（中1）

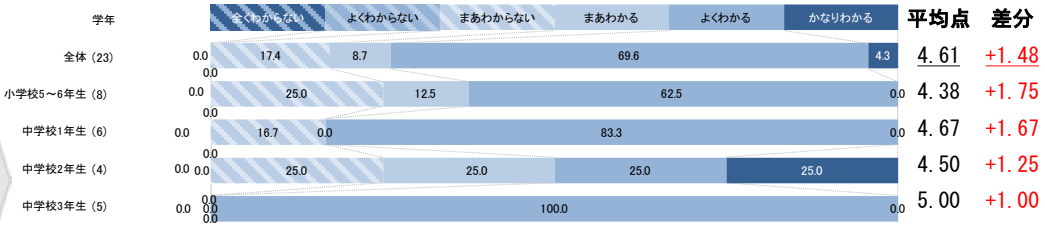
「国の借金」についての理解

パンフレット読前



＜ヒアリング内容（理解度等）＞
・「国が借金している」ことは知らなかった。（多数）
・国が借金していることは聞いたことがある。その規模についてはわからない。（中3他）
・日本が借金しているということは社会の授業で習っており知っていた。その金額についてはわからないが、たくさん有ることは知っていた。（小5）
・国の借金総額が1,000兆円近く有ることは知っていた。ネットで調べた。（小5）

パンフレット読後



＜ヒアリング内容（理解度等）＞
・「ワニロ」という言葉を覚えていて差が年々開いていることを理解していた。（多数）
・金額は覚えていないが、ｴﾍﾞﾚｽﾄ、富士山のﾍﾟｰｼﾞは覚えており、借金が大変という認識。（多数）
・原因が社会保障費の伸びであることを理解。背景に高齢化があることまで理解。（多数）
・借金が伸びているということがわかった。矢印やエベレストがわかりやすい。（小5）
・社会保障が要因だとわからなかった。グラフや絵が有るとわかりやすい。（中1）
・P14は難しい言葉が多いので、なんとなくしか理解できていない。（中3）
・「GDP」「受益」など、意味がわからない用語が有った。（小6）

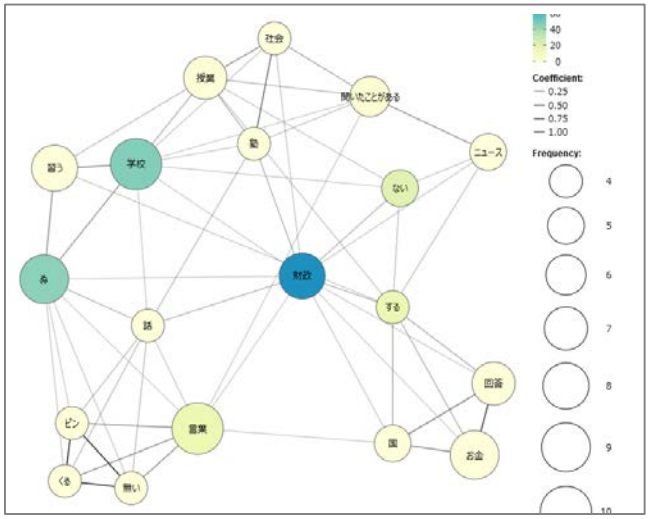
パンフレット確認前後の理解度変化（子ども） ※財政

・パンフレット読前は、「学校では習っていない」「（財政に関して）ピンとくる言葉は無い」といった回答や、「国のお金のこと」といった回答が多かった
また「受験の際に学んだ」「ニュースで聞いた」等の意見もあった
・パンフレット読後は、財政のことが「分かった」「理解した」という回答が多くみられ、対象者の口から「公共サービス」や「医療」「教育」等の単語も出てきた

「財政」という言葉の認知および理解

パンフレット読前

抽出語	出現回数
学校	10
言葉	10
お金	9
ぬ	9
財政	8
習う	8
回答	7
授業	7
聞いたことがある	6
ない	5
ニュース	5
国	5
くる	4
する	4
ピン	4
社会	4
塾	4
分からない	4
無い	4
話	4

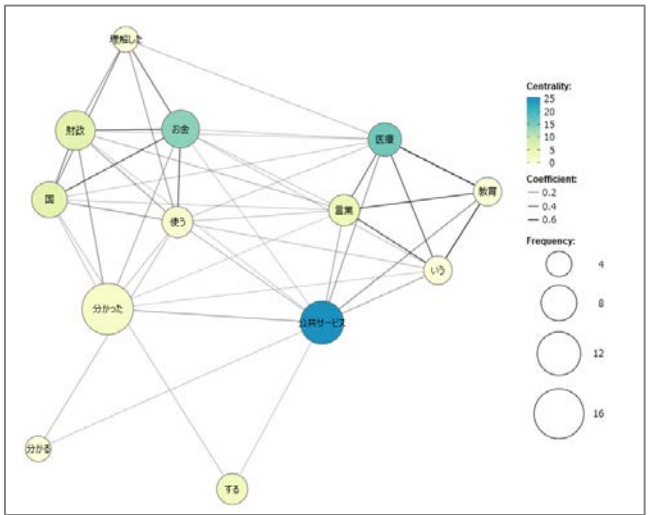


＜多く出現した単語＞
学校、言葉、お金、ぬ（否定語）、財政　等

＜同時に使われやすい単語（結びつきが強い単語）＞
・学校、習う、ぬ（否定語）
・・・「学校では習っておらず、」
・言葉、ピン、くる、無い
・・・「ピンとくる言葉は無い」
・お金、国、回答
・・・「「国のお金のこと」と回答」
・授業、塾、社会、ニュース、聞いたことがある
・・・「社会の授業で聞いたことがある」
「中学受験の際の塾の社会の時間に～」
「ニュースで聞いたことがある」

パンフレット読後

抽出語	出現回数
分かった	17
公共サービス	12
財政	10
お金	9
国	8
医療	7
する	6
言葉	6
使う	6
いう	5
教育	5
分かる	4
理解した	4



＜多く出現した単語＞
分かった、公共サービス、財政、お金、国　等

＜同時に使われやすい単語（結びつきが強い単語）＞
・財政、国、使う、お金、理解した
・・・「財政とは、生活のためのお金の使い方だと理解した」
「財政とは、医療や学校など、国が生活に必要なところに
お金を使うことだと理解した」
・言葉、医療、教育、いう
・・・「公共サービスの例も「教育」、「医療」、「年金」と言えた」
「「公共サービス」について「教育」「医療」「犯罪から守ること」
という言葉が出てきた」

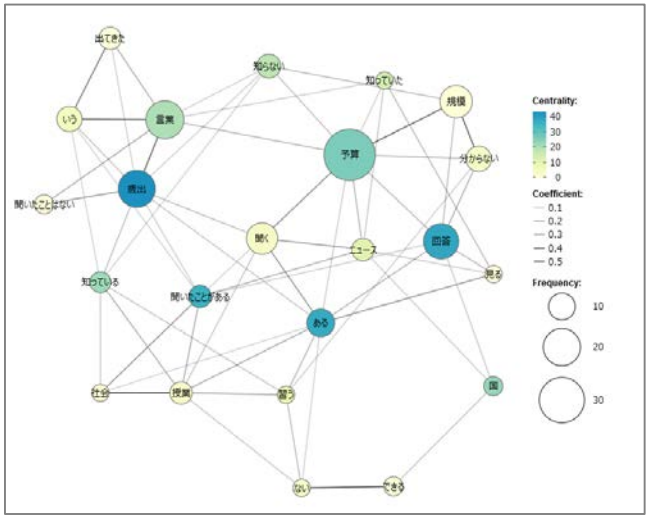
パンフレット確認前後の理解度変化（子ども） ※歳出

・パンフレット読前は、「「歳出」という言葉は聞いたことはない」一方、「予算」という言葉はニュースで聞いたことがあるといった回答が多かった
ただし、ほとんどが予算規模までは答えられなかった
・パンフレット読後は、「社会保障」という言葉、また「社会保障費に多くのお金が使われていること（人によっては歳出に占める社会保障費の割合まで回答）が分かった」という回答が多かった
また、「社会保障が身近な存在である」といった意見や、読前には答えられなかった「予算規模」も回答できた方もいた

「歳出」という言葉の認知および理解

パンフレット読前

抽出語	出現回数
予算	39
言葉	21
歳出	20
回答	18
規模	15
聞く	14
ある	11
いう	9
分からない	9
知らない	8
ニュース	7
授業	7
出てきた	7
聞いたことがある	7
知っている	6
できる	5
国	5
聞いたことはない	5
ない	4
見る	4

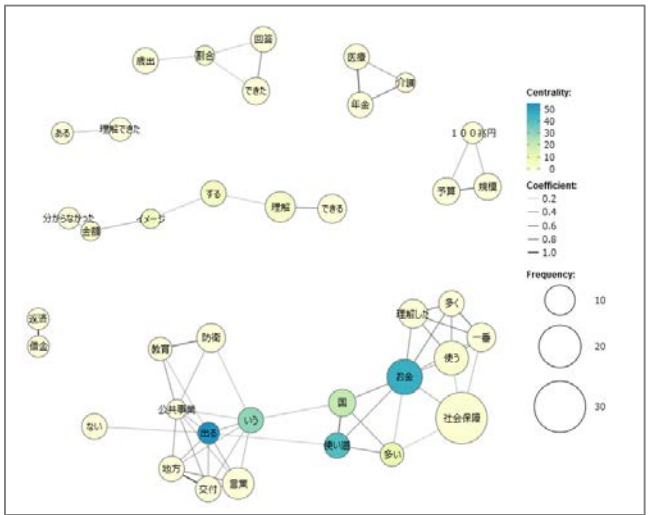


＜多く出現した単語＞
予算、言葉、歳出、回答 、規模　等

＜同時に使われやすい単語（結びつきが強い単語）＞
・予算、規模、分からない、回答、知らない
・・・「予算の規模については、分からないと回答」
・言葉、歳出、出てきた、聞いたことは無い
・・・「「歳出」という言葉は聞いたことはない」
「「歳出」と「歳入」という言葉が自分から出てきた」
・聞く、ニュース、見る、知っていた
・・・「「予算」は、ニュースを見て知っていた」
・授業、社会、聞いたことがある、知っている、習う、ない（否定語）
・・・「「歳出」については社会の授業で聞いたことがある」
「予算規模については授業で習った記憶はあるものの思い出せなかった」

パンフレット読後

抽出語	出現回数
社会保障	30
お金	14
分かった	14
使う	13
言葉	11
理解	10
できる	9
一番	9
防衛	9
理解した	9
できた	8
規模	8
国	8
予算	8
いう	7
する	7
ない	7
医療	7
回答	7
交付	7



＜多く出現した単語＞
社会保障、お金、分かった、使う、言葉　等

＜同時に使われやすい単語（結びつきが強い単語）＞
・社会保障、お金、使う、理解した、一番、多く
・・・「「社会保障費」に一番多くのお金が使われていることについて理解した」
・言葉、防衛、教育、公共事業、地方、交付、出る
・・・「国のお金の使い道として、「社会保障」「地方への交付金」「公共事業」「農業」「防衛」「教育」といった言葉が出てきた」
・予算、規模、100兆円
・・・「予算規模100兆円についても分かった」
・割合、回答、できた
・・・「歳出に占める社会保障の割合（約3割）も回答できた」
・医療、年金、介護
・・・「「社会保障」が「医療」や「年金」「介護」等の身近なものであることについて理解した」

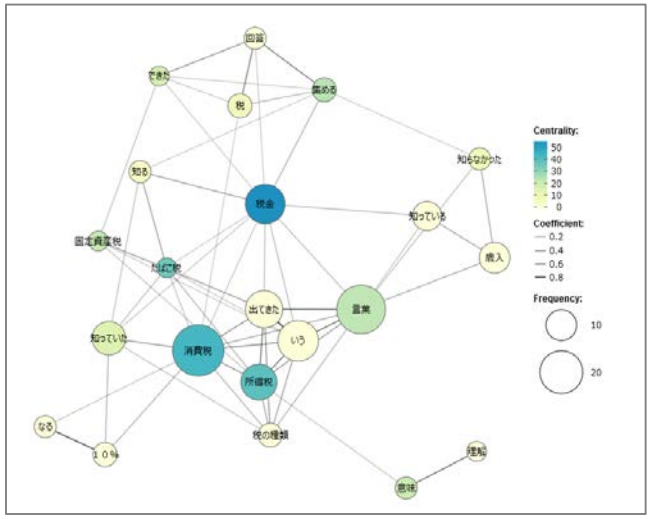
パンフレット確認前後の理解度変化（子ども） ※歳入

・パンフレット読前は、「歳出」と同様に「「歳入」という言葉は知らない」一方、「税金」という言葉は知っているといった回答が多かった
また、「消費税」や「所得税」は多くの方が知っていた
・パンフレット読後は、多くの税の種類が答えられるようになり、ひとによってはそれぞれの意味まで理解できるようになった

「歳入」という言葉の認知および理解

パンフレット読前

抽出語	出現回数
消費税	29
言葉	26
いう	18
税金	17
出てきた	15
所得税	14
知っていた	12
歳入	10
知っている	9
10%	6
集める	6
税	6
税の種類	6
なる	5
意味	5
回答	5
知らなかった	5
知る	5
たばこ税	4
できた	4

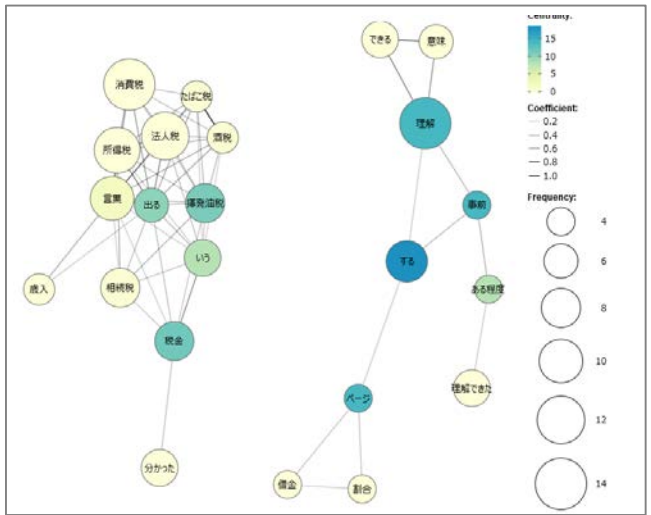


＜多く出現した単語＞
消費税、言葉、税金、出てきた 、所得税　等

＜同時に使われやすい単語（結びつきが強い単語）＞
・消費税、言葉、出てきた、所得税、税の種類
・・・「税の種類として「消費税」「所得税」という言葉が出てきた」
・税、回答、集める
・・・「どのように集めているかと聞くと「税」と回答」
・歳入、知っている、（知らなかった）、（税金）
・・・「「歳入」という言葉は知らなかったが、税金という言葉は知っている」
・10%、なる、（消費税）、（知っていた）
・・・「消費税率が10%になったことを知っていた」

パンフレット読後

抽出語	出現回数
消費税	14
理解	14
法人税	12
所得税	11
言葉	10
する	9
揮発油税	8
税金	8
相続税	8
いう	7
できる	7
分かった	7
理解できた	7
意味	6
出る	6
たばこ税	5
歳入	5
酒税	5
税率	5
ある程度	4



＜多く出現した単語＞
消費税、理解、法人税、所得税、言葉　等

＜同時に使われやすい単語（結びつきが強い単語）＞
・消費税、法人税、所得税、言葉、揮発油税、出る、たばこ税、酒税
・・・「大きなところの「所得税」「消費税」「法人税」が出てきた他に、「揮発油税」と言葉が出てきた。さらに「酒税」「たばこ税」が出た」「読前は知らなかった「法人税」「揮発油税」について理解できた」
・理解、意味、できる
・・・「それぞれの意味も理解できていた」

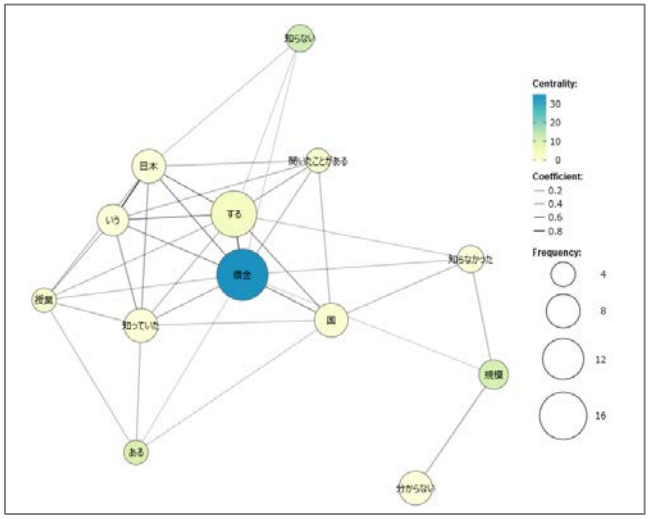
パンフレット確認前後の理解度変化（子ども） ※国の借金

・パンフレット読前は、国が借金していることは「知らない（知らなかった）」という方、また「知っている（聞いたことがある）」といった方のどちらもいたが、その規模までは分からない方がほとんどだった
・パンフレット読後は、パンフレットの「ワニの口のイラスト」から、「借金が増えていることを理解した」という意見が多かった、また借金の総額が回答できる子どもいた
また、その背景に「社会保障」や「高齢化」が関わっていることが理解できたという意見もみられた
Ｐ．９、Ｐ．１０のページが「見やすい」という意見もみられた ※Ｐ．９は「ワニの口のイラスト」が含まれているページ

「「国の借金」に関する内容の理解

パンフレット読前

抽出語	出現回数
借金	19
する	15
国	8
知っていた	8
日本	8
分からない	8
いう	7
規模	6
知らない	5
知らなかった	5
ある	4
授業	4
聞いたことがある	4
金額	3
知っている	3
あまり	2
あり	2
たくさん	2
ない	2
ぬ	2

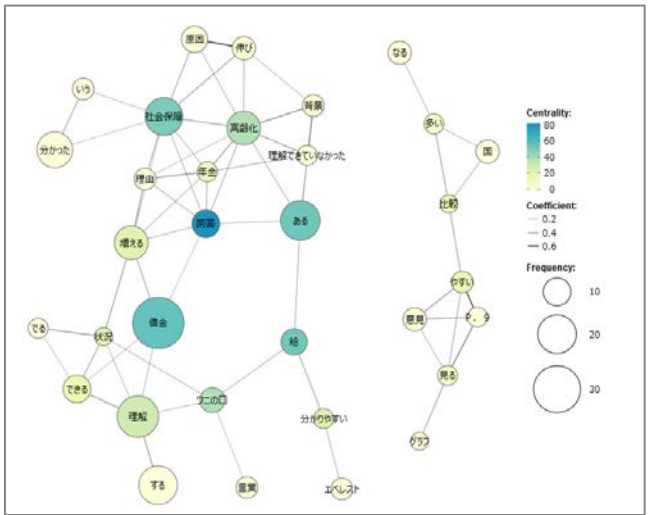


＜多く出現した単語＞
借金、国、知っていた、日本 、分からない 等

＜同時に使われやすい単語（結びつきが強い単語）＞
・借金、する、国、聞いたことがある
・・・「国が借金していることは知っている」
「国が借金していることは聞いたことがある」
・日本、知っていた、授業
・・・「日本が借金しているということは社会の授業で習っており、知っていた」
・規模、分からない
・・・「ただし、その規模については分からない」

パンフレット読後

抽出語	出現回数
借金	36
理解	23
ある	21
する	20
社会保障	19
分かった	17
高齢化	15
増える	15
ない	13
できる	10
回答	10
絵	9
原因	9
ワニの口	8
なる	7
意見	7
国	7
伸び	7
いう	6
やすい	6



＜多く出現した単語＞
借金、理解、ある、社会保障、分かった 等

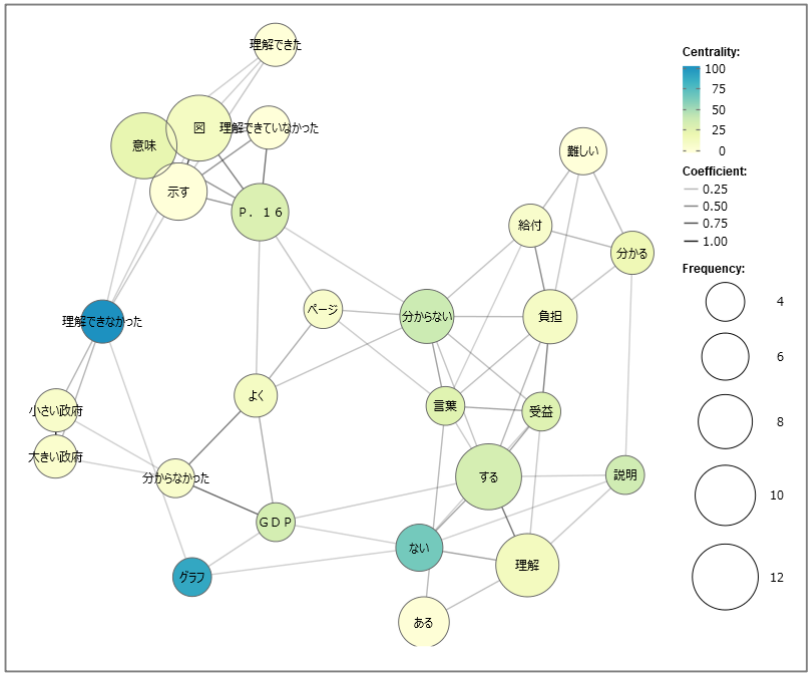
＜同時に使われやすい単語（結びつきが強い単語）＞
・社会保障、高齢化、理由、原因、伸び、背景、理解できなかった
・・・「社会保障の伸びの原因が高齢化ということも分かった」
「借金が増えた理由は社会保障が多くなってしまったためと回当」
「その背景に高齢化があることまでは理解できていなかった」
・ワニの口、理解、状況、できる
・・・「ワニの口を理解し借金が増えつづけている状況を理解できていた」
・Ｐ．９、意見、見る、やすい（形容詞）
・・・「Ｐ．９、Ｐ．１０は見やすいとの意見」

「給付と負担のバランス」に関する内容の理解（子ども）

・「給付と負担のバランス」については、「理解できない」「分からない」「難しい」といった否定的な意見が多かった
そのなかで挙がった言葉は「負担」「給付」「受益」「GDP」「大きい政府」「小さい政府」と数も多かった
・難しい言葉が多く含まれる「P．16（社会保障の給付と負担の関係）」は保護者からも分かりづらいという意見も多くみられた

「給付と負担のバランス」に関する内容の理解
パンフレット読後

抽出語	出現回数
する	12
意味	12
図	12
理解	11
P．16	9
示す	9
負担	8
分からない	8
ある	7
ない	6
難しい	6
よく	5
給付	5
小さい政府	5
大きい政府	5
分かる	5
理解できた	5
理解できていなかった	5
理解できなかった	5
GDP	4
グラフ	4
ページ	4
言葉	4
受益	4
説明	4
分からなかった	4



＜多く出現した単語＞
意味、図、理解、P．16 、示す　等

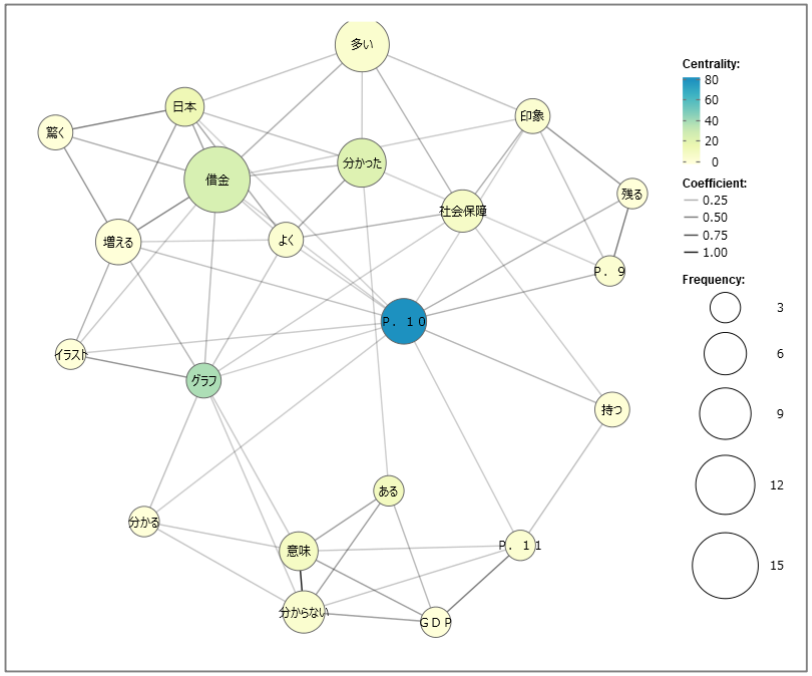
＜同時に使われやすい単語（結びつきが強い単語）＞
・する、受益、負担、給付、言葉、理解、ない（否定語）、分からない
・・・「受益と負担についてはあまり理解をしていなかった」
「負担と給付が分かりにくく、相当難しい印象」
・P．16、理解できていなかった、図、意味、示す
・・・「図（P．16）の示す意味が理解できていなかった」
・大きい政府、小さい政府、理解できなかった
・・・「大きい政府、小さい政府が理解できなかった」
・GDP、よく、分からなかった
・・・「GDPがよく分からなかった」

関心をもった・気になった・覚えている言葉等（子ども）

・「関心をもった・気になった・覚えている言葉等」を聞いたところ、「日本の借金が増えていること」「P．10（国の「借金」の状況）が見やすく内容としても記憶に残りやすい」といった借金に関する意見が多く挙がった
・逆に「意味が分からない言葉が出てきた」といった意見も挙がっており、P．11（「借金の国際比較）等に記載されている「GDP」という言葉がそのひとつとなっている
※他に「受益」「硬直化」などが挙がっている

関心をもった・気になった・覚えている言葉等
パンフレット読後

抽出語	出現回数
借金	15
多い	10
分かった	8
P．10	7
増える	7
社会保障	6
分からない	6
意味	5
日本	5
よく	4
グラフ	4
印象	4
驚く	4
持つ	4
GDP	3
P．11	3
P．9	3
ある	3
イラスト	3
残る	3
分かる	3



＜多く出現した単語＞
借金、多い、分かった、P．10 、増える　等

＜同時に使われやすい単語（結びつきが強い単語）＞
・借金、増える、日本、驚く
・・・「日本の借金が増え続けているという事実に驚いた」
「P．10借金が増えていくグラフとイラストが面白かった」
・P．10、P．9、印象、残る
・・・「P．9P．10が見やすく内容としても記憶に残りやすい」
「借金の積み上がりのページのエベレストや富士山が印象に残っている」
・GDP、P．11、意味、分からない
・・・「P．11「GDP」が何か分からなかった」
「「GDP」「受益」「硬直化」など、意味が分からない言葉があった」
・よく、分かった
・・・「「社会保障費」が色々なことに使われていることがよく分かった。」
「P．9歳出と歳入の差が借金だと分かった」
「他の国より日本の借金が多いことがよく分かった」

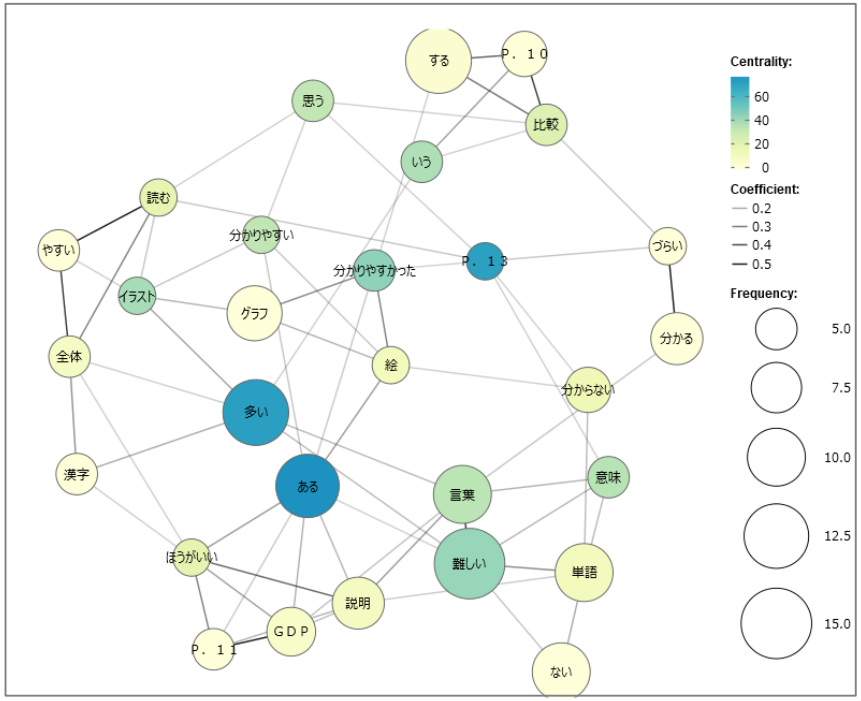
パンフレットの良かった点・悪かった点（子ども）

・「パンフレットの良かった点・悪かった点」を聞いたところ、「イラストや絵、グラフ等が分かりやすかった」といったポジティブな意見が多い
一方で、「難しい言葉が多い」「漢字が多い」といったネガティブな意見も多く挙がった
・また「難しい言葉には説明を付けた方がよい」「フリガナを入れたほうがいい」というような今後の改善につながる意見も挙がった

パンフレットの良かった点・悪かった点（子ども）

パンフレット読語

抽出語	出現回数
難しい	15
する	13
多い	13
ある	12
ない	10
言葉	10
単語	10
グラフ	9
説明	8
分かる	8
GDP	7
P．10	6
分からない	6
P．11	5
いう	5
やすい	5
意味	5
漢字	5
思う	5
全体	5
比較	5
分かりやすかった	5
P．13	4
づらい	4
ほうがいい	4
イラスト	4
絵	4
読む	4
分かりやすい	4



＜多く出現した単語＞

難しい、多い、言葉、単語 、グラフ、説明、分かる　等

＜同時に使われやすい単語（結びつきが強い単語）＞

・難しい、言葉、単語、意味、ない（否定語）
　・・・「難しい言葉が結構あった」
　　「「歳出」「歳入」など普段使わない難しい単語などが出てきた」
　　「難しい言葉が多いので言葉の意味を説明してほしい」
・多い、イラスト、全体、漢字、読む、やすい（非自立語）
　・・・「文字も大きいしイラストやグラフが多くて読みやすかった」
　　「全体的に漢字が多い」
・ある、ほうがいい、説明、GDP、P．11
　・・・「P．11　GDPの説明あったほうがいい」
・グラフ、絵、分かりやすかった、分かりやすい、P．13、分からない、分かる、づらい（非自立語）
　・・・「絵やグラフがあったところは分かりやすかった」
　　「P．13　分かりやすかった」
　　「P．13、P．14　よく分からない。意味が分からない」
・P．10、比較、する
　・・・「P．10　金額で比較するなら、身近なものが何個買えるかがいいのでは」

パンフレット確認前後の指標変化（保護者） ※日本の財政についての理解

・日本の財政についての理解は、平均点がパンフレット読前の1.96～2.43から読後2.83～3.13に向上　※すべての項目で向上
・「税金の種類やその割合」が増加が最も高く、パンフレット確認前後で1.09ポイント増　ついで「国の借金の問題点」で1.00ポイント増
・男女ともにパンフレット読後の理解度が増加

理解度増加：□ 差分が＋1.00以上

日本の財政についての理解

パンフレット読前

	言葉自体を知らない	言葉を聞いたことがある程度	内容をまあ知っている	内容を人に説明できるくらい詳しい	平均点
1.日本の財政(N=22)	0.0	72.7	22.7	4.5	2.32
2.国の予算の使われ方（歳入）(N=23)	0.0	73.9	26.1	0.0	2.26
3.国の社会保障の内訳や割合(N=23)	4.3	91.3	4.3	0.0	2.00
4.国の社会保障以外の主な歳出(N=23)	13.0	78.3	8.7	0.0	1.96
5.国の歳入（税収や借金）(N=23)	9.1	68.2	18.2	4.5	2.18
6.税金の種類やその割合(N=23)	4.3	87.0	8.7	0.0	2.04
7.国の借金の状況(N=23)	8.7	73.9	13.0	4.3	2.13
8.国の借金が積み上がった原因(N=23)	8.7	73.9	13.0	4.3	2.13
9.国の借金の問題点(N=23)	13.0	73.9	8.7	4.3	2.04
10.高齢化による日本の財政への影響(N=23)	4.3	52.2	39.1	4.3	2.43
11.社会保障の給付と負担の関係(N=23)	4.3	82.6	13.0	0.0	2.09

パンフレット読後

	言葉自体を知らない	言葉を聞いたことがある程度	内容をまあ知っている	内容を人に説明できるくらい詳しい	平均点	差分
1.日本の財政(N=23)	0.0	17.4	69.6	13.0	2.96	+0.64
2.国の予算の使われ方（歳入）(N=23)	0.0	13.0	78.3	8.7	2.96	+0.70
3.国の社会保障の内訳や割合(N=23)	0.0	21.7	69.6	8.7	2.87	+0.87
4.国の社会保障以外の主な歳出(N=23)	0.0	17.4	73.9	8.7	2.91	+0.95
5.国の歳入（税収や借金）(N=23)	0.0	8.7	69.6	21.7	3.13	+0.95
6.税金の種類やその割合(N=23)	0.0	4.3	78.3	17.4	3.13	+1.09
7.国の借金の状況(N=23)	0.0	21.7	56.5	21.7	3.00	+0.87
8.国の借金が積み上がった原因(N=23)	0.0	17.4	65.2	17.4	3.00	+0.87
9.国の借金の問題点(N=23)	0.0	17.4	60.9	21.7	3.04	+1.00
10.高齢化による日本の財政への影響(N=23)	0.0	17.4	56.5	26.1	3.09	+0.66
11.社会保障の給付と負担の関係(N=23)	0.0	30.4	56.5	13.0	2.83	+0.74

【性別】

保護者（男性）

	言葉自体を知らない	言葉を聞いたことがある程度	内容をまあ知っている	内容を人に説明できるくらい詳しい	平均点
1.日本の財政(N=11)	0.0	45.5	45.5	9.1	2.64
2.国の予算の使われ方（歳入）(N=12)	0.0	58.3	41.7	0.0	2.42
3.国の社会保障の内訳や割合(N=12)	0.0	91.7	8.3	0.0	2.08
4.国の社会保障以外の主な歳出(N=12)	16.7	66.7	16.7	0.0	2.00
5.国の歳入（税収や借金）(N=12)	0.0	63.6	27.3	9.1	2.45
6.税金の種類やその割合(N=12)	0.0	83.3	16.7	0.0	2.17
7.国の借金の状況(N=12)	0.0	75.0	16.7	8.3	2.33
8.国の借金が積み上がった原因(N=12)	0.0	66.7	25.0	8.3	2.42
9.国の借金の問題点(N=12)	0.0	75.0	16.7	8.3	2.33
10.高齢化による日本の財政への影響(N=12)	0.0	50.0	41.7	8.3	2.58
11.社会保障の給付と負担の関係(N=12)	0.0	91.7	8.3	0.0	2.08

保護者（女性）

	言葉自体を知らない	言葉を聞いたことがある程度	内容をまあ知っている	内容を人に説明できるくらい詳しい	平均点
1.日本の財政(N=11)	0.0	100.0	0.0		2.00
2.国の予算の使われ方（歳入）(N=11)	0.0	90.9	9.1	0.0	2.09
3.国の社会保障の内訳や割合(N=11)	9.1	90.9	0.0	0.0	1.91
4.国の社会保障以外の主な歳出(N=11)	9.1	90.9	0.0	0.0	1.91
5.国の歳入（税収や借金）(N=11)	18.2	72.7	9.1	0.0	1.91
6.税金の種類やその割合(N=11)	9.1	90.9	0.0	0.0	1.91
7.国の借金の状況(N=11)	18.2	72.7	9.1	0.0	1.91
8.国の借金が積み上がった原因(N=11)	18.2	81.8	0.0		1.82
9.国の借金の問題点(N=11)	27.3	72.7	0.0		1.73
10.高齢化による日本の財政への影響(N=11)	9.1	54.5	36.4	0.0	2.27
11.社会保障の給付と負担の関係(N=11)	9.1	72.7	18.2	0.0	2.09

【性別】

保護者（男性）

	言葉自体を知らない	言葉を聞いたことがある程度	内容をまあ知っている	内容を人に説明できるくらい詳しい	平均点	差分
1.日本の財政(N=12)	0.0	8.3	66.7	25.0	3.17	+0.53
2.国の予算の使われ方（歳入）(N=12)	0.0		83.3	16.7	3.17	+0.75
3.国の社会保障の内訳や割合(N=12)	0.0	16.7	66.7	16.7	3.00	+0.92
4.国の社会保障以外の主な歳出(N=12)	0.0	8.3	75.0	16.7	3.08	+1.08
5.国の歳入（税収や借金）(N=12)	0.0		58.3	41.7	3.42	+0.97
6.税金の種類やその割合(N=12)	0.0		75.0	25.0	3.25	+1.08
7.国の借金の状況(N=12)	0.0	8.3	58.3	33.3	3.25	+0.92
8.国の借金が積み上がった原因(N=12)	0.0	8.3	58.3	33.3	3.25	+0.83
9.国の借金の問題点(N=12)	0.0	16.7	50.0	33.3	3.17	+0.84
10.高齢化による日本の財政への影響(N=12)	0.0	16.7	41.7	41.7	3.25	+0.67
11.社会保障の給付と負担の関係(N=12)	0.0	16.7	58.3	25.0	3.08	+1.00

保護者（女性）

	言葉自体を知らない	言葉を聞いたことがある程度	内容をまあ知っている	内容を人に説明できるくらい詳しい	平均点	差分
1.日本の財政(N=11)	0.0	27.3	72.7	0.0	2.73	+0.73
2.国の予算の使われ方（歳入）(N=11)	0.0	27.3	72.7	0.0	2.73	+0.64
3.国の社会保障の内訳や割合(N=11)	0.0	27.3	72.7	0.0	2.73	+0.82
4.国の社会保障以外の主な歳出(N=11)	0.0	27.3	72.7	0.0	2.73	+0.82
5.国の歳入（税収や借金）(N=11)	0.0	18.2	81.8	0.0	2.82	+0.91
6.税金の種類やその割合(N=11)	0.0	9.1	81.8	9.1	3.00	+1.09
7.国の借金の状況(N=11)	0.0	36.4	54.5	9.1	2.73	+0.82
8.国の借金が積み上がった原因(N=11)	0.0	27.3	72.7	0.0	2.73	+0.91
9.国の借金の問題点(N=11)	0.0	18.2	72.7	9.1	2.91	+1.18
10.高齢化による日本の財政への影響(N=11)	0.0	18.2	72.7	9.1	2.91	+0.64
11.社会保障の給付と負担の関係(N=11)	0.0	45.5	54.5	0.0	2.55	+0.46

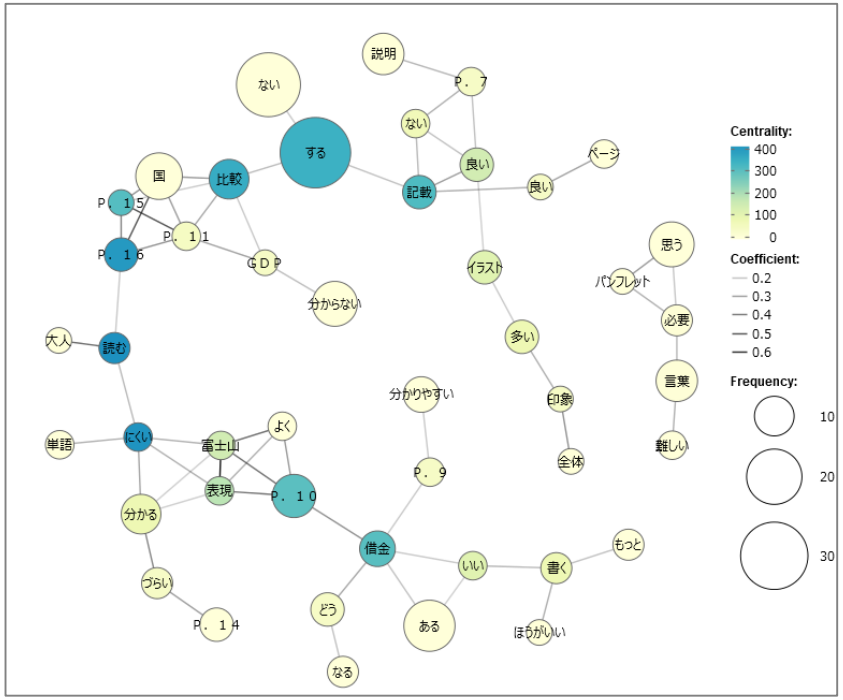
パンフレットの良かった点・悪かった点（保護者）

・保護者にも「パンフレットの良かった点・悪かった点」を聞いたところ、子どもと同様に「イラストや絵、グラフ等が多い」ことに対する評価が挙がった
一方で、こちらも同様に「分かりづらい」「全体的に字が多い」「説明が必要」」といった意見も多く挙がった
・以下のような今後の改善につながる意見も多かった
分かりやすい言葉がもっと必要／漢字にはルビを振ってほしい／身近な国と比較してはどうか（P．11等）／なぜGDPで比較するのか分からない。借金の金額で比較してはどうか（P．11）」

パンフレットの良かった点・悪かった点（保護者）

パンフレット読語

抽出語	出現回数
する	33
ない	27
ある	17
国	14
思う	13
分からない	13
P．10	12
言葉	11
説明	11
比較	10
分かる	10
借金	8
分かりやすい	8
P．14	7
P．16	7
どう	7
イラスト	7
記載	7
多い	7
良い	7
づらい	6
なる	6
もっと	6
書く	6
読む	6
必要	6
P．11	5
P．7	5
P．9	5
いい	5
ない	5
にくい	5
よく	5
ページ	5
子ども	5
単語	5
難しい	5
表現	5
富士山	5



＜多く出現した単語＞
国、思う、分からない、P．10 、言葉、説明　等

＜同時に使われやすい単語（結びつきが強い単語）＞
・国、比較、P．11、P．15、P．16、GDP、分からない
・・・「・P．11、P．15、P．16　中国や韓国など身近な国と比較してみてはどうか」
「P．11　なぜGDPで比較するのか分からない。借金の金額で比較してはどうか」
・必要、思う、パンフレット、言葉、難しい
・・・「このようなパンフレットが必要だと思う」
「よりきめ細かな説明や簡単な言葉に置き換える等々の対応が必要だと思う」
・P．10、富士山、表現、分かる、にくい（非自立語）、づらい（非自立語）、P．14
・・・「P．10　富士山の何倍、エベレストの何倍の表現はよく分からなかった」
「P．14　文字ばかりで分かりづらい、大人でも分からないと思う」
・イラスト、多い、良い、全体、印象
・・・「全体的にイラストがたくさんあるのはよかった」
・P．7、記載、説明、ない（否定語）
・・・「P．7　国債自体の説明がない」
・P．9、借金、分かりやすい
・・・「P．9、P．10　借金の累積を絵で表現することは分かりやすい」

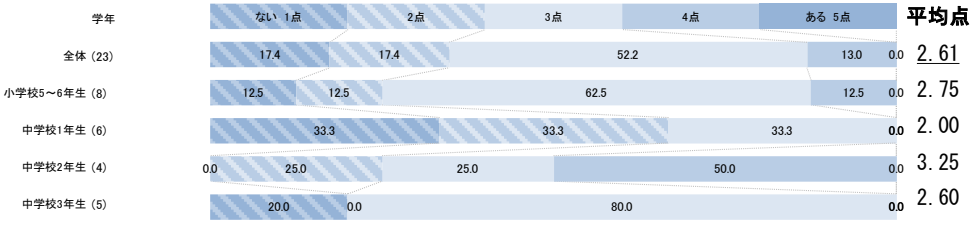
日本の財政に関する興味・関心（子ども・保護者）

・日本の財政に関する興味・関心は、子どもは平均点がパンフレット読前の2.61から読後3.74に向上（1.13ポイント増）　※すべての学年で1ポイント以上向上
・保護者は平均点がパンフレット読前の4.00から読後4.17に向上（0.17ポイント増）
・保護者（男性）は平均点がパンフレット読前の4.25から読後4.58に向上（0.33ポイント増）
・保護者（女性）では平均点はパンフレット確認前後で変わらないものの、「興味がない（１点）」「興味がない（２点）」という回答はなくなった

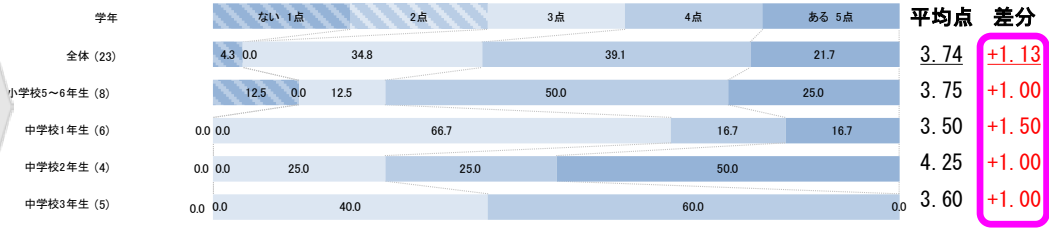
理解度増加：□ 差分が＋1.00以上

日本の財政に関する興味・関心（子ども）

パンフレット読前

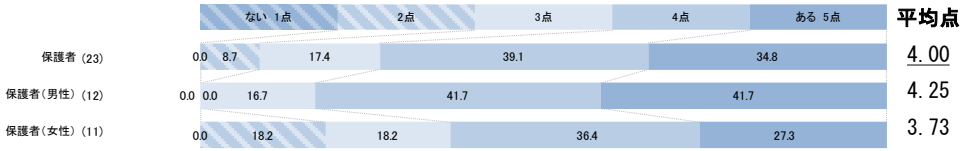


パンフレット読後

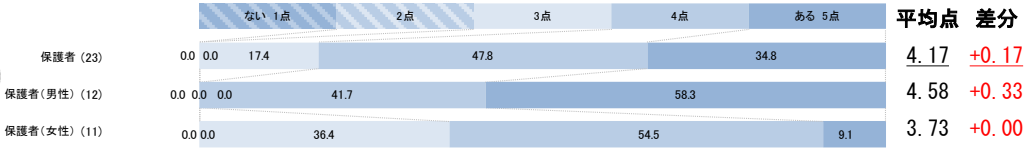


日本の財政に関する興味・関心（保護者）

パンフレット読前



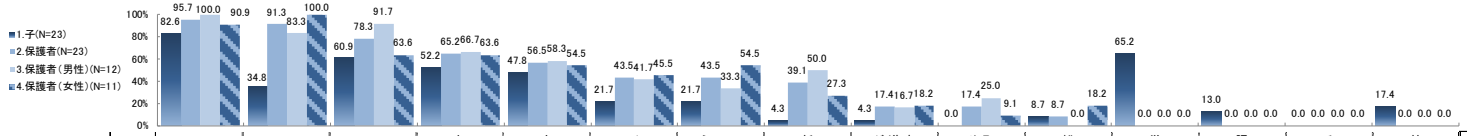
パンフレット読後



日頃の情報源および財政、政治等の情報源

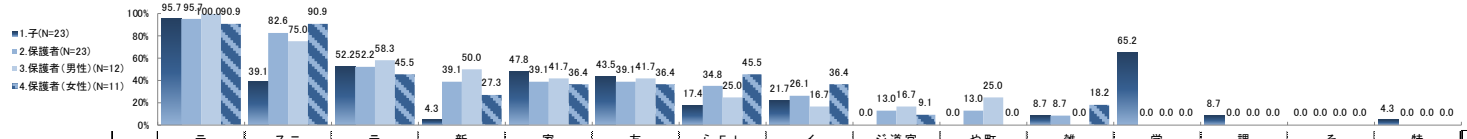
・日頃の情報源は、子どもでは「テレビ（ニュース番組）」の8割に続き、「学校の授業（65%）」が情報源として割合が高く、ついで「テレビ（バラエティ番組）」「友人・知人の話」「家族・親戚の話」の5，6割
　一方、保護者は「テレビ（ニュース番組）」や「ニュース・情報サイト・ニュースアプリ」が9割以上、「テレビ（バラエティ番組）」が8割以上で情報源として活用
・財政、政治等の情報源は、子どもでは「テレビ（ニュース番組）」の96%に続き、「学校の授業（65%）」が高く、ついで、「テレビ（バラエティ番組）」「家族・親戚の話」「友人・知人の話」が4，5割
　一方、保護者は「テレビ（ニュース番組）」が9割以上、「ニュース・情報サイト・ニュースアプリ」が8割以上で情報源となっているが、つづく「テレビ（バラエティ番組）」では5割と割合にひらきがある

日頃の情報源



	N	テレビ（ニュース番組）	ニュース・情報サイト、ニュースアプリ	テレビ（バラエティ番組）	友人・知人の話	家族・親せきの話	インターネット広告	Facebook等のSNSからの情報	LINE、Twitter、	新聞	官公庁（国）や地方自治体（都道府県、市町村）のホームページ	町内会・自治会などのイベントや集会	雑誌	学校の授業	課外授業	その他	特になし	一人あたりの平均回答項目数
1.子	23	82.6	34.8	60.9	52.2	47.8	21.7	21.7	4.3	4.3	0.0	8.7	65.2	13.0	0.0	17.4		4.17
2.保護者	23	95.7	91.3	78.3	65.2	56.5	43.5	43.5	39.1	17.4	17.4	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0		5.57
3.保護者（男性）	12	100.0	83.3	91.7	66.7	58.3	41.7	33.3	50.0	16.7	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		5.67
4.保護者（女性）	11	90.9	100.0	63.6	63.6	54.5	45.5	54.5	27.3	18.2	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0		5.45

財政、政治等の情報源



	N	テレビ（ニュース番組）	ニュース・情報サイト、ニュースアプリ	テレビ（バラエティ番組）	新聞	家族・親せきの話	友人・知人の話	Facebook等のSNSからの情報	LINE、Twitter、	インターネット広告	官公庁（国）や地方自治体（都道府県、市町村）のホームページ	町内会・自治会などのイベントや集会	雑誌	学校の授業	課外授業	その他	特になし	一人あたりの平均回答項目数
1.子	23	95.7	39.1	52.2	4.3	47.8	43.5	17.4	21.7	0.0	0.0	8.7	65.2	8.7	0.0	4.3		4.04
2.保護者	23	95.7	82.6	52.2	39.1	39.1	39.1	34.8	26.1	13.0	13.0	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0		4.43
3.保護者（男性）	12	100.0	75.0	58.3	50.0	41.7	41.7	25.0	16.7	16.7	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		4.50
4.保護者（女性）	11	90.9	90.9	45.5	27.3	36.4	36.4	45.5	36.4	9.1	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0		4.36

会場調査結果のまとめ

【全体結果】

パンフレット確認前後の指標変化（子ども）

財政用語の認知および理解　～パンフレットを読むことで知識レベルが向上～

財政　パンフレット読前：3.35 ⇒ 読後：4.78　平均点が1.43ポイント増
歳出　パンフレット読前：3.52 ⇒ 読後：4.96　平均点が1.44ポイント増
歳入　パンフレット読前：3.91 ⇒ 読後：5.00　平均点が1.09ポイント増
国の借金　パンフレット読前：3.13 ⇒ 読後：4.61　平均点が1.48ポイント増
※「全くわからない（１点）」「よくわからない（２点）」「まあわからない（３点）」「よくわかる（４点）」「まあわかる（５点）」「かなりわかる（６点）」

パンフレット確認前後の指標変化（保護者）

日本の財政についての理解　～パンフレットを読むことで知識レベルが向上～

11項目の平均値　パンフレット読前：1.96（最低値）～2.43（最高値） ⇒ 読後：2.83（最低値）～3.13（最高値）
※「知らない（１点）」「聞いたことがある程度（２点）」「まあ知っている（３点）」「説明できるくらい詳しい（４点）」

平均点の増加度合いが大きい2項目は以下のとおり ※平均点が1ポイント以上増加
税金の種類やその割合　パンフレット読前：2.04 ⇒ 読後：3.13　平均点が1.09ポイント増
国の借金の問題点　パンフレット読前：2.04 ⇒ 読後：3.04　平均点が1.00ポイント増

日本の財政に関する興味・関心（子ども・保護者） ※パンフレット確認前後

日本の財政に関する興味・関心　～パンフレットを読むことで興味・関心レベルが向上～

子ども　パンフレット読前：2.61 ⇒ 読後：3.74　平均点が1.13ポイント増
保護者　パンフレット読前：4.00 ⇒ 読後：4.17　平均点が0.17ポイント増
※「興味がない（１点）」「（２点）」「（３点）」「（４点）」「興味がある（５点）」

【対象者からの意見】

パンフレット確認前後の理解度変化（子ども）

財政について

パンフレット読前：「学校では習っていない」「（財政に関して）ピンとくる言葉は無い」といった回答や、「国のお金のこと」といった回答が多かった
パンフレット読後：財政のことが「分かった」「理解した」という回答が多くみられ、対象者の口から「公共サービス」や「医療」「教育」等の単語も出てきた

歳出について

パンフレット読前：「「歳出」という言葉は聞いたことはない」一方、「予算」という言葉はニュースで聞いたことがあるといった回答が多かった
パンフレット読後：「社会保障」という言葉、また「社会保障費に多くのお金が使われていること」が分かったという回答が多かった

会場調査結果のまとめ

歳入について

パンフレット読前 :「歳出」と同様に「「歳入」という言葉は知らない」一方、「税金」という言葉は知っているといった回答が多かった
パンフレット読後 : 多くの税の種類が答えられるようになり、ひとによってはそれぞれの意味まで理解できるようになった

国の借金について

パンフレット読前 : 国が借金していることは「知らない（知らなかった）」という方、また「知っている（聞いたことがある）」といった方のどちらもいたが、その規模までは分からない方がほとんどだった
パンフレット読後 : パンフレットの「ワニの口のイラスト」から、「借金が増えていることを理解した」という意見が多かった
また、借金の総額が回答できる子どももいた

パンフレット内容に対する意見（子ども）

「給付と負担のバランス」に関する内容の理解　～「理解できない」「分からない」「難しい」といった否定的な意見が多い～

「負担」「給付」「受益」「GDP」「大きい政府」「小さい政府」等の言葉が難しい・分からないとの意見が多かった

関心をもった・気になった・覚えている言葉等　～借金に関する意見が多い～

「日本の借金が増えていること」「P．１０（国の「借金」の状況）が見やすく内容としても記憶に残りやすい」といった借金に関する意見が多く挙がった

パンフレットの良かった点・悪かった点

良かった点　:イラストや絵、グラフ等が分かりやすかった
悪かった点　:難しい言葉が多い／漢字が多い
改善アイデア等:難しい言葉が多いので言葉の意味を説明してほしい／絵をもっと入れてほしい／フリガナを入れたほうがいい

パンフレット内容に対する意見（保護者）

パンフレットの良かった点・悪かった点

良かった点　:このようなパンフレットが必要だと思う／全体的にイラストがたくさんあるのはよかった
悪かった点　:分かりづらい／全体的に字が多い
改善アイデア等:漢字にはルビを振ってほしい／難しい言葉は、簡単な言葉に変えるか、説明を書くといいのでは／もっと簡単に書いてほしい。※「受益」「償還費」
その他　:最初に難しい言葉が出てきてしまうと、後に続かなくなってしまうのではないか／最初ページに伝えたいことのサマリーを作ってはどうか／もっとこの借金がどのくらい大変なことなのかが分かるような比較があったほうが良い／富士山の何倍、エベレストの何倍の表現はよく分からなかった。身近なものを例にしたほうがもっと分かりやすかった

財政情報の理解のために

よりきめ細かな説明や簡単な言葉への置き換え

「財政学習教材」として用いられているパンフレット（日本の「財政」を考えよう）について、今回の調査ではターゲットとなっている「子ども」、さらにはその「保護者」を問わず理解度の向上がみられた。

とくに絵やイラスト、グラフが多く挿入されていたことに対して、読みやすさや分かりやすさと共に多くの評価の意見が得られた。

一方、『言葉が難しい』『説明がほしい』といった意見は「子ども」だけでなく「保護者」からも多く挙がっており、さらなる言葉の説明や伝え方の改善が必要であることが明確になった。

分からない言葉が存在することで、そのページだけでなく、以降のページへの興味や関心が減少してしまう恐れがあることから、**よりきめ細かな説明や簡単な言葉に置き換える等の対応**が求められる。

指標項目結果（今回結果）

・財政関連の用語等の理解度について、依然として『非理解』層が『理解』層を上回っている状況
・現在および将来の日本の財政には不安感を抱いている割合が高い
・税や保険料に対して負担感を感じている割合が高い
・払う税に対して、公共サービスを受けていないと感じている割合が高く、そのことが「税や保険料を今より多く払いたくない」と回答する理由につながっていると推測される

No.	主要項目	評価内容（選択肢）	回答割合
Q10	財政に関する言葉の理解度 ※20項目平均	『理解』層 （「まあ知っている」+「詳しい」）	41.0%
		『非理解』層 （「知らない」+「聞いたことがある程度」）	59.0%
Q24	財政と社保に関する文章の理解度 ※10項目平均	『理解』層 （「よく知っている」）	19.1%
		『非理解』層 （「知らない」+「聞いたことがある」）	80.9%
Q11	現在の日本の財政状況について	『安心』層（「とても」+「安心」+「やや」）	6.6%
		『不安』層（「やや」+「不安」+「とても」）	77.3%
Q13	10年後の日本の財政について	『今より良い』層（「とても」+「良い」+「やや」）	4.7%
		『今より厳しい』層（「やや」+「厳しい」+「とても」）	79.0%
Q17	税と保険料の負担度 ※7項目平均（「8.相続税」「9.酒税」「10.たばこ税」を除く）	『（生活を）圧迫しない』層 （「あまり」+「圧迫しない」+「全く」）	21.7%
		『（生活を）圧迫』する層 （「とても」+「圧迫」+「まあ」）	71.3%
Q26	社保に関わる税や保険料について	社会保障に使われるとはいえ、私は税や保険料を今より多く払いたくない	38.4%
Q22	払う税と受ける公共サービスのバランス	『払う税に比べて、公共サービスを受けている』層 （「とても」+「受けている」+「まあ」）	22.3%
		『払う税に比べて、公共サービスを受けていない』層 （「あまり」+「受けていない」+「全く」）	62.7%

言葉の理解度は4段階で聴取
非理解層が約6割

文章の理解度は3段階で聴取
非理解層が8割を超える

いずれも7段階で聴取
『不安』層は8割弱
『今より厳しい』層は約8割

7段階で聴取
『圧迫』層が7割超

7段階で聴取
『払う税に反して、公共サービスを受けていない』層が6割超

指標項目結果（時系列結果）

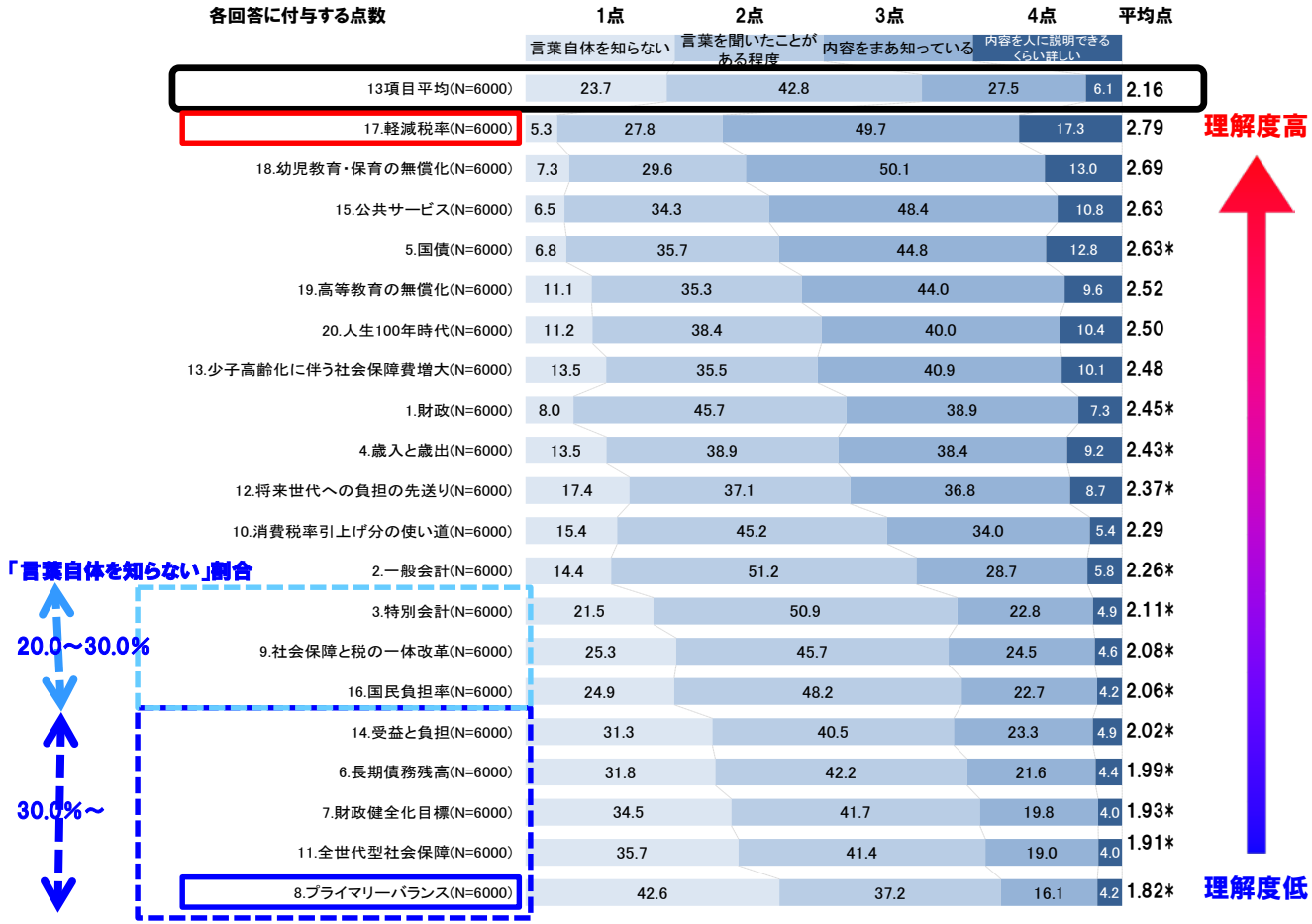
・財政関連の用語等の理解度は、依然として「言葉自体を知らない」層が2割を占めている
・現在および将来の日本の財政について、不安感を抱いている割合が高い
・税や保険料への負担感は、圧迫していると感じている割合は高いものの、
　社会保障に関わる税や保険料を今より多く払いたくないと感じている割合は年々減少している
・払う税に対して、公共サービスを受けていないと感じている割合は減少傾向にある

No.	主要項目	評価内容（選択肢）	【H30年】	【H31年】	【R2年】
Q10	財政に関する言葉の理解度 ※13項目平均（H30年・H31年から差替えた用語は除く）	言葉自体を知らない	23.1%	24.8%	23.7%
Q24	財政と社保に関する文章の理解度 ※6項目平均（H30年・H31年から替えた用語は除く）	知らない／聞いたことが無い	29.9%	30.3%	29.7%
Q11	現在の日本の財政状況について	『安心』層	7.4%	6.4%	6.6%
		どちらともいえない	18.6%	17.6%	16.1%
		『不安』層	74.0%	76.0%	77.3%
Q13	10年後の日本の財政について	『今より良い』層	7.6%	6.7%	4.7%
		今と変わらない	21.4%	18.5%	16.4%
		『今より厳しい』層	71.0%	74.8%	78.9%
Q17	税と保険料の負担度 ※7項目平均（「8.相続税」「9.酒税」「10.たばこ税」を除く）	とても圧迫する	16.3%	16.8%	15.9%
		『圧迫』層	70.8%	71.7%	71.3%
Q26	社保に関わる税や保険料について	社会保障に使われるとはいえ、私は税や保険料を今より多く払いたくない	41.2%	40.9%	38.4%
Q22	払う税と受ける公共サービスのバランス	『払う税に反して、公共サービスを受けていない』層	67.0%	62.9%	62.7%

財政に関する用語の理解度（用語別・性年代別）

・財政関連の用語の理解度（平均）は「人に説明できるくらい詳しい」が6%、「内容をまあ知っている」が3割、「言葉を聞いたことがある程度（4割）」「言葉自体を知らない（2割）」
・最も理解度が高い用語は「軽減税率」で、「人に説明できるくらい詳しい」が17%、「内容をまあ知っている」が50%とその合計は約7割
・最も理解度が低い用語は「プライマリーバランス」で、「言葉自体を知らない（約4割）」と「言葉を聞いたことがある程度（約4割）」でその合計は約8割
・「言葉を知らない」割合が3割を超える用語は「受益と負担」「長期債務残高」「財政健全化目標」「全世代型社会保障」。4割を超えるのは「プライマリーバランス」

【用語別】財政に関する用語の理解度　※13項目の平均点が高い順（平均点に*がある項目は継続実施の用語）



【性年代】財政に関する用語の理解度　※ 20項目平均

	男性	女性
18-24歳	2.17	1.91
25-34歳	2.20	1.84
35-44歳	2.28	1.87
45-54歳	2.38	2.04
55-64歳	2.52	2.14
65-74歳	2.61	2.25

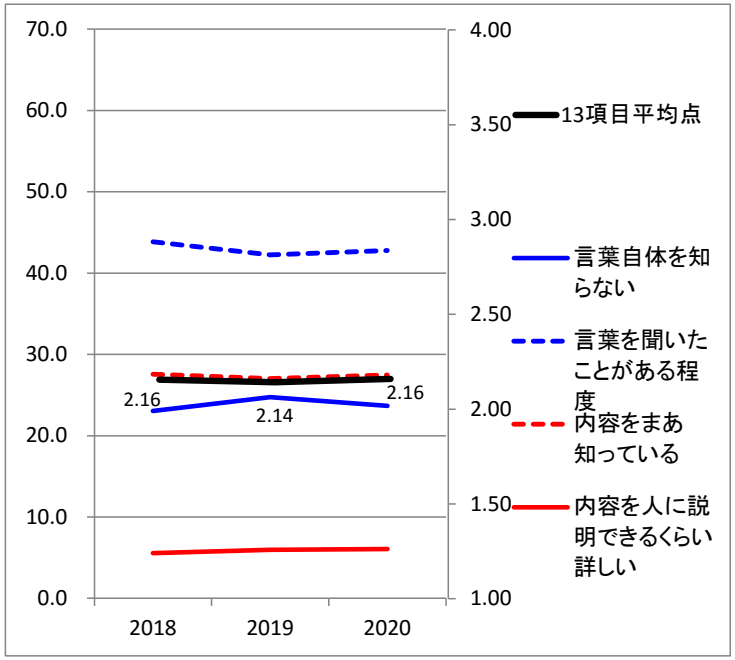
理解度低
理解度高

財政に関する用語の理解度（時系列結果）

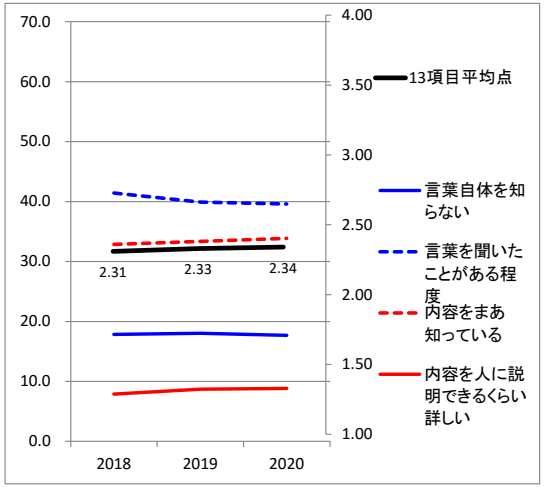
・財政関連の用語の理解度（平均）、「言葉自体を知らない」割合ともに、全体では変わらず
・性別で見ると、男性でわずかに増加
・「言葉自体を知らない」割合を年齢・性別でみると、増加から減少に転じている層が多い

【時系列】財政に関する用語の理解度　※13項目平均（継続実施項目）

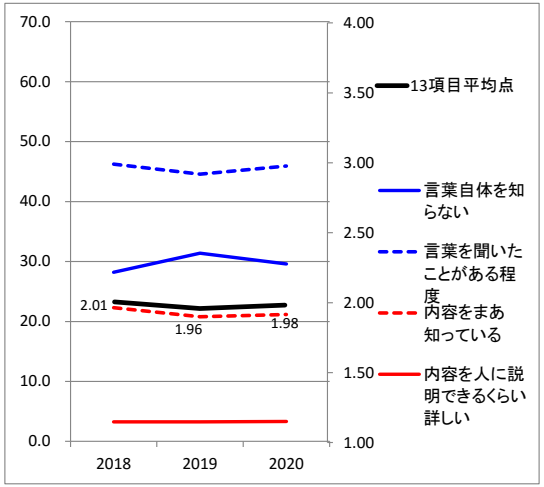
全体



男性



女性



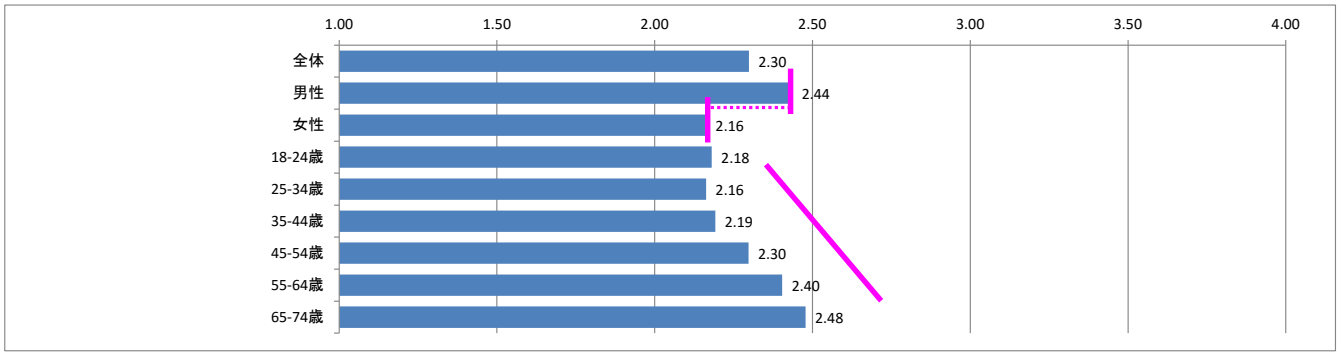
【時系列】財政に関する用語の理解度「言葉自体を知らない」※13項目平均（継続実施項目）

	男性				女性			
	2018年	2019年	2020年	言葉自体を知らない	2018年	2019年	2020年	言葉自体を知らない
18-24歳	27.7	28.4	31.0	増加傾向	45.2	45.5	38.4	増加から減少
25-34歳	25.1	26.9	25.1	増加から減少	42.5	44.6	42.3	増加から減少
35-44歳	21.7	21.7	20.4	昨年より減少	33.5	35.8	37.2	増加傾向
45-54歳	17.3	14.8	16.7	減少から増加	26.8	30.6	27.5	増加から減少
55-64歳	11.6	12.8	12.5	増加から減少	18.1	22.8	20.8	増加から減少
65-74歳	9.0	9.3	7.4	増加から減少	15.0	19.3	18.4	増加から減少

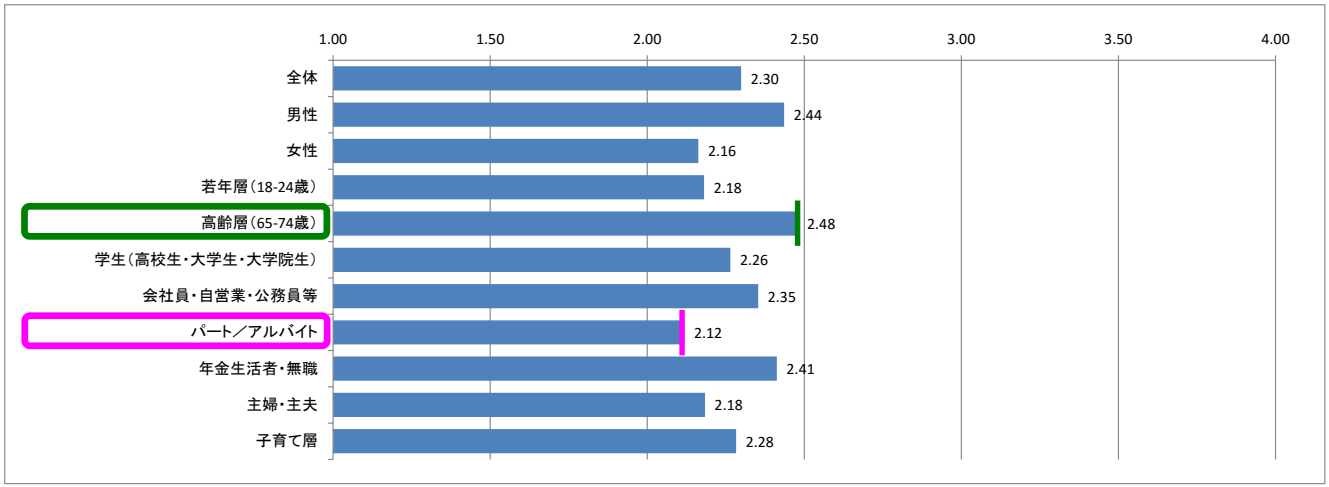
財政に関する用語の理解度（属性別結果）

・財政関連の用語の理解度（平均）は若年層ほど理解度が低く、さらには女性で低い
・ライフスタイル属性別では、「高齢層（65-74歳）」で他の属性に比べ理解度が高い
　また、「高齢層（65-74歳）」より「年金生活者・無職」の方が理解度が低い 「若年層（18-24歳）」より「学生（高校生・大学生・大学院生）」の方が理解度が高い
・「パート／アルバイト」の理解度は最も低い

【性別・年代】財政に関する用語の理解度　※全20項目平均



【ライフスタイル属性】財政に関する用語の理解度　※全20項目平均



財政に関する用語の理解度（属性別結果） ※ライフスタイル属性

・財政に関する用語の理解度は、「主婦・主夫」「子育て層」を除くすべての層で「軽減税率」が最も高い　「主婦・主夫」「子育て層」では2番目
　「主婦・主夫」「子育て層」で、「幼児教育・保育の無償化」が最も高い
　全ての層で、上位10項目は同じ。
・すべての層で「プライマリーバランス」の「言葉を知らない」割合が最も高い
　「若年層（18-24歳）」「学生（高校生・大学生・大学院生）」「子育て層」を除く全ての層で、上位10項目は同じ　※上位9項目の用語はすべての層で同じ

【ライフスタイル属性】財政に関する用語の理解度

上位10項目（平均点）

	全体	男性	女性	若年層（18-24歳）	高齢層（65-74歳）	学生	会社員・自営業・公務員等	パート／アルバイト	年金生活者・無職	主婦・主夫	子育て層
第1位	軽減税率 2.79	軽減税率 2.85	軽減税率 2.73	軽減税率 2.84	軽減税率 2.82	軽減税率 2.93	軽減税率 2.84	軽減税率 2.68	軽減税率 2.78	幼児教育無償化 2.78	幼児教育無償化 2.91
第2位	幼児教育無償化 2.69	国債 2.77	幼児教育無償化 2.72	公共サービス 2.61	国債 2.81	国債 2.72	幼児教育無償化 2.69	幼児教育無償化 2.66	国債 2.76	軽減税率 2.68	軽減税率 2.79
第3位	公共サービス 国債 2.63	公共サービス 2.68	公共サービス 2.59	幼児教育無償化 2.56	幼児教育無償化 2.75	公共サービス 2.65	国債 2.68	公共サービス 2.56	公共サービス 2.67	公共サービス 2.60	公共サービス 2.65
第4位		幼児教育無償化 2.66	国債 2.50	国債 2.53	公共サービス 2.71	幼児教育無償化 2.58	公共サービス 2.66	国債 2.45	幼児教育無償化 2.62	国債 2.51	国債 高等教育無償化 2.59
第5位	高等教育無償化 2.52	高齢化→社保増大 歳入と歳出 2.60	高等教育無償化 2.47	人生100年時代 2.46	歳入と歳出 2.70	高等教育無償化 2.51	高等教育無償化 2.55	高等教育無償化 2.43	歳入と歳出 2.62	高等教育無償化 人生100年時代 2.48	
第6位	人生100年時代 2.50		人生100年時代 2.46	高等教育無償化 2.44	高等教育無償化 2.65	人生100年時代 2.49	高齢化→社保増大 2.54	人生100年時代 2.37	高等教育無償化 高齢化→社保増大		高齢化→社保増大 人生100年時代 2.48
第7位	高齢化→社保増大 2.48	高等教育無償化 2.58	財政 高齢化→社保増大 2.35	高齢化→社保増大 財政 2.37	人生100年時代 2.64	財政 高齢化→社保増大 2.47	人生100年時代 2.52	財政 2.30	2.57	財政 2.37	
第8位	財政 2.45	財政 2.56			高齢化→社保増大 2.63		財政 歳入と歳出 2.49	高齢化→社保増大 2.29	財政 2.55	高齢化→社保増大 2.35	財政 2.43
第9位	歳入と歳出 2.43	負担の先送り 人生100年時代 2.53	歳入と歳出 2.27	歳入と歳出 2.29	財政 2.60	歳入と歳出 2.45		歳入と歳出 2.19	人生100年時代 2.53	歳入と歳出 2.30	歳入と歳出 2.36
第10位	負担の先送り 2.37		負担の先送り 2.21	負担の先送り 2.20	負担の先送り 2.58	負担の先送り 2.33	負担の先送り 2.44	負担の先送り 2.15	負担の先送り 2.50	負担の先送り 2.23	負担の先送り 2.35

【ライフスタイル属性】財政に関する用語の理解度

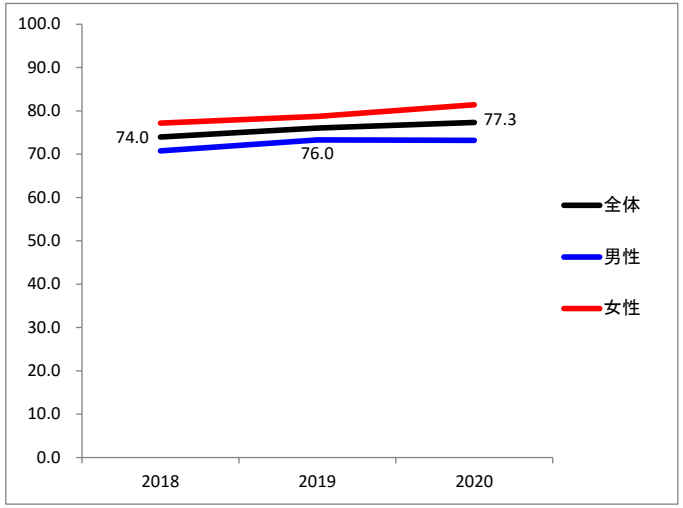
上位10項目（言葉自体を知らない）

	全体	男性	女性	若年層（18-24歳）	高齢層（65-74歳）	学生	会社員・自営業・公務員等	パート／アルバイト	年金生活者・無職	主婦・主夫	子育て層
第1位	プライマリーバランス 42.6	プライマリーバランス 29.7	プライマリーバランス 55.3	プライマリーバランス 50.2	プライマリーバランス 30.6	プライマリーバランス 46.1	プライマリーバランス 38.4	プライマリーバランス 53.7	プライマリーバランス 30.9	プライマリーバランス 55.6	プライマリーバランス 48.0
第2位	全世代型社保 35.7	全世代型社保 27.6	財政健全化 45.3	財政健全化 47.0	全世代型社保 23.3	財政健全化 41.7	全世代型社保 32.7	財政健全化 46.4	全世代型社保 28.9	全世代型社保 43.6	財政健全化 39.8
第3位	財政健全化 34.5	長期債務残高 23.8	全世代型社保 43.8	長期債務残高 44.8	長期債務残高 19.4	長期債務残高 38.7	財政健全化 31.1	全世代型社保 45.0	長期債務残高 24.8	財政健全化 42.1	全世代型社保 38.4
第4位	長期債務残高 31.8	財政健全化 23.5	長期債務残高 39.8	受益と負担 44.3	財政健全化 19.0	受益と負担 38.0	受益と負担 28.8	受益と負担 41.3	財政健全化 24.3	長期債務残高 38.8	長期債務残高 35.0
第5位	受益と負担 31.3	受益と負担 23.4	受益と負担 39.2	全世代型社保 42.7	受益と負担 16.9	全世代型社保 36.9	長期債務残高 28.6	長期債務残高 40.9	国民負担率 23.2	受益と負担 37.3	受益と負担 34.3
第6位	税の一体改革 25.3	国民負担率 21.7	税の一体改革 32.9	特別会計 41.6	国民負担率 16.8	特別会計 35.8	国民負担率 23.2	税の一体改革 35.0	受益と負担 21.7	税の一体改革 31.0	税の一体改革 26.1
第7位	国民負担率 24.9	税の一体改革 17.6	国民負担率 28.2	税の一体改革 39.4	税の一体改革 13.9	税の一体改革 33.9	税の一体改革 22.1	国民負担率 29.2	税の一体改革 18.4	国民負担率 28.1	国民負担率 25.9
第8位	特別会計 21.5	特別会計 15.5	特別会計 27.3	国民負担率 31.7	負担の先送り 7.6	一般会計 27.7	特別会計 19.7	特別会計 28.7	負担の先送り 13.2	特別会計 24.9	特別会計 24.5
第9位	負担の先送り 17.4	負担の先送り 13.0	負担の先送り 21.8	一般会計 29.6	特別会計 7.5	国民負担率 26.6	負担の先送り 15.3	負担の先送り 23.9	増税分の使途 12.5	負担の先送り 20.3	負担の先送り 18.2
第10位	増税分の使途 15.4	増税分の使途 12.7	一般会計 増税分の使途 18.0	負担の先送り 29.4	増税分の使途 6.8	負担の先送り 24.0	増税分の使途 13.8	増税分の使途 20.8	特別会計 11.9	増税分の使途 16.2	一般会計 15.8

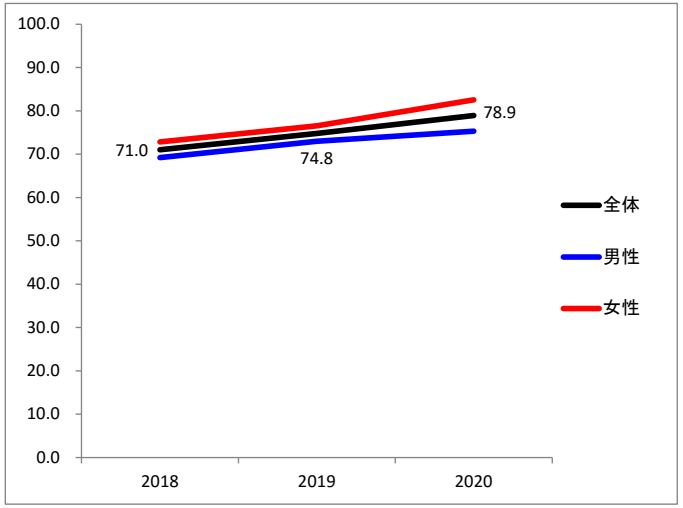
日本の財政への不安度（時系列結果）

・現在の財政状況は、「不安」層がやや増加傾向
　男性では年代による「不安」層の幅が広く、年代が上がるにつれ「不安」層の割合が高い　女性では若年層ほど「不安」層の増加傾向が顕著
・10年後の財政状況は、「悪化予想」層が増加傾向
　こちらも男性で年代が上がるにつれ割合も上がる　女性では「若年層（18-24歳）」の「悪化予想」層が昨年から急増

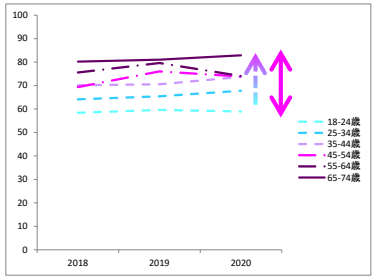
【時系列】現在の日本の財政状況　※各項目「とても不安」+「不安」+「やや不安」の合計



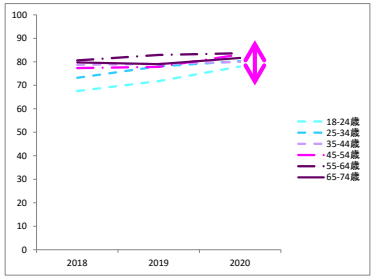
【時系列】10年後の日本の財政　※各項目「とても厳しい状態」+「厳しい状態」+「やや厳しい状態」の合計



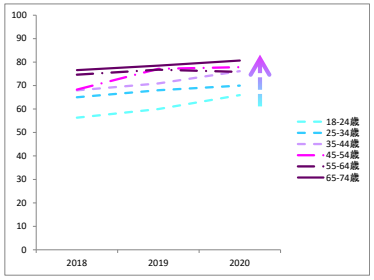
男性



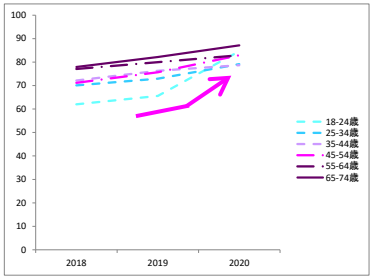
女性



男性



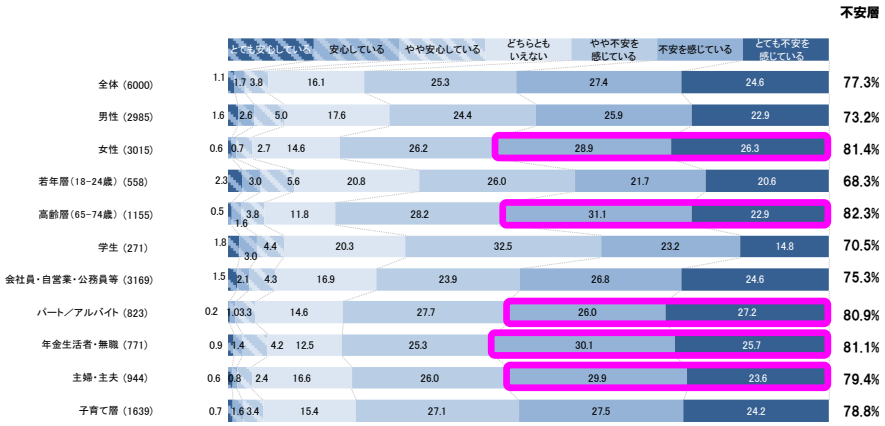
女性



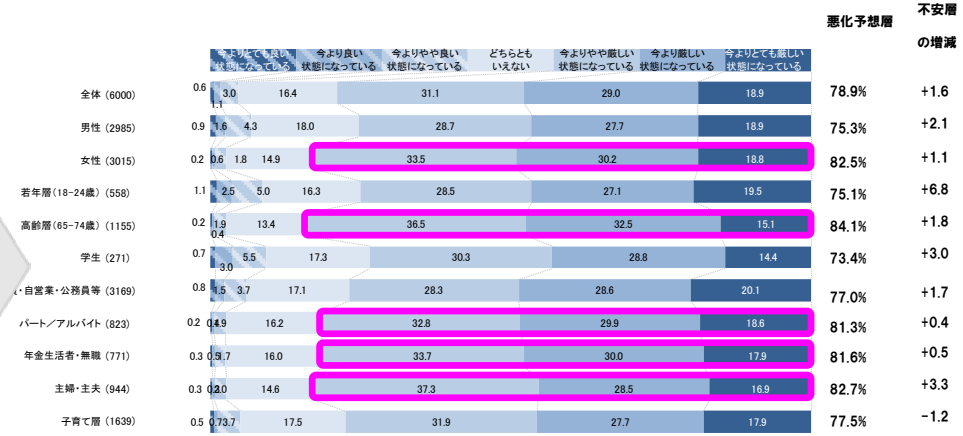
日本の財政への不安度（属性別結果）

・日本の財政への不安度および将来の悪化予想は「女性」「高齢層（65-74歳）」「パート／アルバイト」「年金生活者・無職」「主婦・主夫」で割合が高い
・「学生」「若年層（18-24歳）」では他の属性に比べ「不安」層および「悪化予想」層の割合が低いが、10年後の「悪化予想層」と現在の再生に対する「不安」層の差は大きい
・「子育て層」における将来の日本の財政に対する「悪化予想」層の割合は、現在の財政に対する「不安」層の割合より低い（現在の不安の方が大きい）

【ライフスタイル属性】現在の日本の財政状況



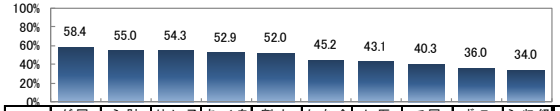
【ライフスタイル属性】10年後の日本の財政



日本の財政への不安度（理由）

・現在の財政状況では、「高齢層（65-74歳）」「パート／アルバイト」で、他の属性より多くの不安要素を持っている
・10年後の財政状況では、「高齢層（65-74歳）」「年金生活者・無職」では、他の属性より多くの不安要素を持っている

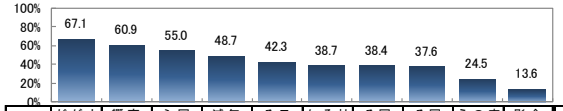
【属性別】現在の日本の財政状況（不安の理由） ※上位10項目



		(n)	国の予算の使い方に無駄が多そうだから	財政赤字が続いているから	子供や孫などの将来世代に国の借金の負担を先送りしているから	自分の年金が減額される／受け取れない可能性がありそうだから	人口における現役世代の割合が減っているから	今後も消費税率引き上げなど、増税がありそうだから	医療費の自己負担が増加しそうだから	国の社会保障費が増大しているから	このままでは借金を返せず財政破綻しそうだから	経済成長しておらず、税収が増えてなさそうだから	一人あたりの平均回答項目数
全体		(4639)	58.4	55.0	54.3	52.9	52.0	45.2	43.1	40.3	36.0	34.0	5.96
性別	男性	(2184)	54.3	53.4	51.9	46.4	51.6	40.2	39.2	44.3	37.2	35.9	5.75
	女性	(2455)	62.0	56.5	56.5	58.6	52.2	49.7	46.6	36.7	34.9	32.3	6.15
年齢	18～24歳	(381)	51.2	44.6	44.6	56.2	44.9	47.0	36.2	33.6	28.1	28.9	5.45
	25～34歳	(676)	58.4	48.1	51.9	61.5	50.3	50.3	38.8	37.4	33.0	32.8	6.03
	35～44歳	(924)	58.0	51.8	52.4	60.4	48.5	47.0	42.0	36.5	33.4	31.9	5.90
	45～54歳	(868)	55.5	51.4	49.1	58.5	50.9	44.8	42.4	40.8	34.2	33.1	5.78
	55～64歳	(840)	58.1	61.5	56.0	50.5	53.1	41.4	47.5	43.1	39.6	34.6	6.03
	65～74歳	(950)	64.4	64.7	65.3	34.9	59.3	42.9	46.8	45.7	42.0	39.3	6.30
ライフスタイル属性	学生（高校生・大学生・大学院生）	(191)	45.0	44.5	44.0	50.8	47.6	37.2	29.8	30.4	23.6	27.7	4.68
	会社員・自営業・公務員等	(2387)	56.0	52.9	50.6	55.3	51.4	44.3	42.1	41.3	36.3	34.4	5.90
	パート／アルバイト	(666)	62.5	57.7	55.7	59.8	53.0	53.0	48.2	37.8	32.3	32.1	6.24
	年金生活者・無職	(625)	61.9	59.7	58.2	37.4	56.6	42.9	44.3	47.2	41.3	38.9	6.13
	主婦・主夫	(750)	62.5	57.6	64.4	52.7	50.1	45.1	44.5	35.7	36.7	31.6	6.00
	子育て層	(1291)	55.8	52.2	60.0	59.6	52.0	46.3	41.1	37.6	34.9	32.0	5.93

※n=「やや不安を感じている」「不安を感じている」「とても不安を感じている」を選択の人

【属性別】10年後の日本の財政（悪化予想の理由） ※上位10項目



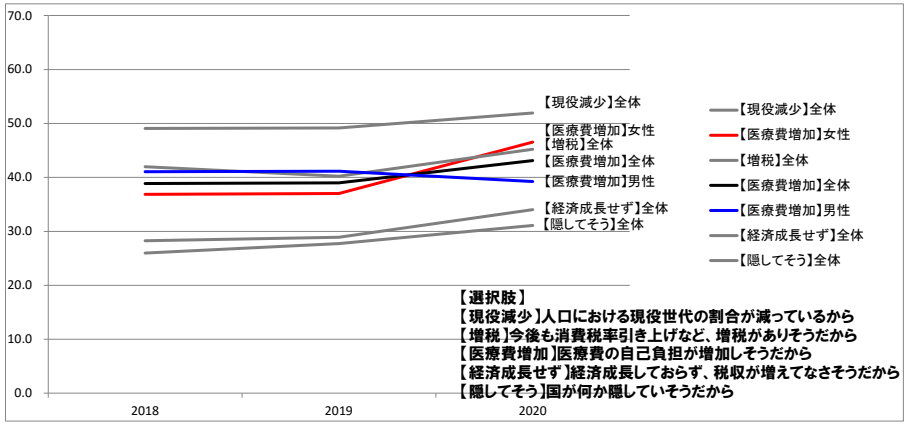
		(n)	少子高齢化で働く人の数が減って税収も減りそうだから	高齢者の増加が様々な影響を与えそうだから	国の借金が増えそうだから	無駄な支出（歳出）を削減できなさそうだから	日本経済は良くならなさそうだから	社会保障費の増加を抑える政策が進まなさそうだから	国の支出（歳出）が増えそうだから	国の収入（税収）が減りそうだから	安定的な税収を得るための税制改革が進まなさそうだから	金利が上昇して経済に悪影響が出そうだから	一人あたりの平均回答項目数
全体		(4736)	67.1	60.9	55.0	48.7	42.3	38.7	38.4	37.6	24.5	13.6	4.29
性別	男性	(2248)	66.1	58.7	54.0	47.9	40.0	40.6	40.7	40.3	25.8	12.5	4.29
	女性	(2488)	68.1	62.9	55.9	49.5	44.4	37.0	36.3	35.2	23.3	14.5	4.28
年齢	18～24歳	(419)	59.9	57.8	46.5	42.5	44.2	27.9	31.7	31.3	21.2	15.5	3.79
	25～34歳	(681)	63.6	59.0	51.2	46.8	48.9	37.9	38.0	38.0	27.8	18.9	4.32
	35～44歳	(931)	64.9	59.5	52.5	44.6	45.8	36.8	36.7	38.0	25.3	16.0	4.22
	45～54歳	(889)	65.8	58.9	51.2	48.7	41.3	40.6	36.0	35.5	22.4	13.2	4.15
	55～64歳	(845)	69.8	62.0	60.5	48.0	39.2	42.4	40.7	38.1	25.9	12.4	4.41
	65～74歳	(971)	73.7	65.7	62.6	57.3	37.3	40.8	43.4	41.2	23.4	8.0	4.55
ライフスタイル属性	学生（高校生・大学生・大学院生）	(199)	58.8	60.3	42.7	40.2	40.2	28.1	31.7	29.6	19.1	11.1	3.82
	会社員・自営業・公務員等	(2440)	65.7	58.9	54.2	46.8	42.3	40.9	38.7	39.1	26.4	15.5	4.30
	パート／アルバイト	(669)	67.9	64.0	52.8	49.5	47.8	35.9	34.4	33.5	21.5	15.7	4.24
	年金生活者・無職	(629)	71.4	63.4	63.1	57.9	38.0	40.5	44.8	41.0	26.6	7.9	4.57
	主婦・主夫	(781)	69.3	62.5	56.2	48.5	41.7	35.7	37.1	35.6	20.9	10.9	4.20
	子育て層	(1271)	69.2	62.2	53.2	46.1	42.9	37.0	36.3	36.6	24.3	16.0	4.25

※n=「今よりやや厳しい状態になっている」「今より厳しい状態になっている」「今よりとても厳しい状態になっている」を選択の人

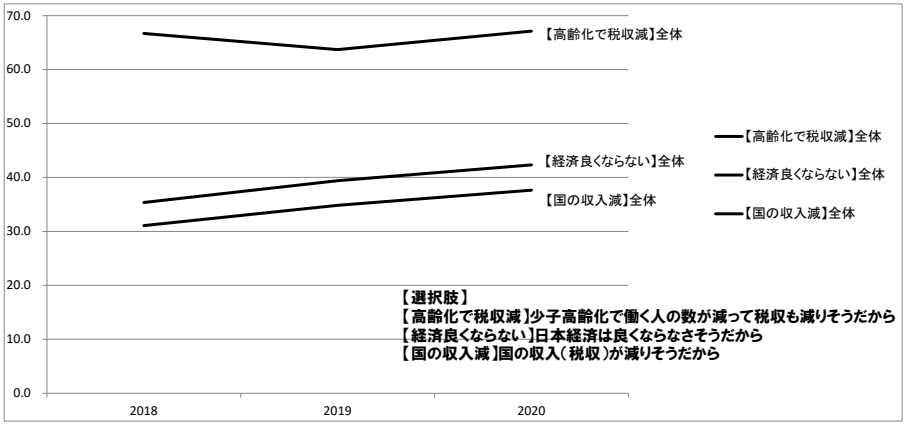
日本の財政への不安度（理由） ※時系列結果

・「不安の理由」で昨年と比べて増加しているのは、「現役減少」「増税」「医療費増加」「経済成長せず」「隠してそう」
「医療費増加」は性別で異なり、女性は昨年と比べて大きく増加しているが、男性は逆に減少している
減少しているのは、「財政赤字」「借金返せず」
・「悪化予想の理由」で昨年と比べて増加しているのは、「高齢化で収入減」「経済良くならない」「国の収入減」
減少しているのは、「借金増えそう」「無駄削減できず」「金利上昇」 ただし、一昨年の割合よりはいずれも高い

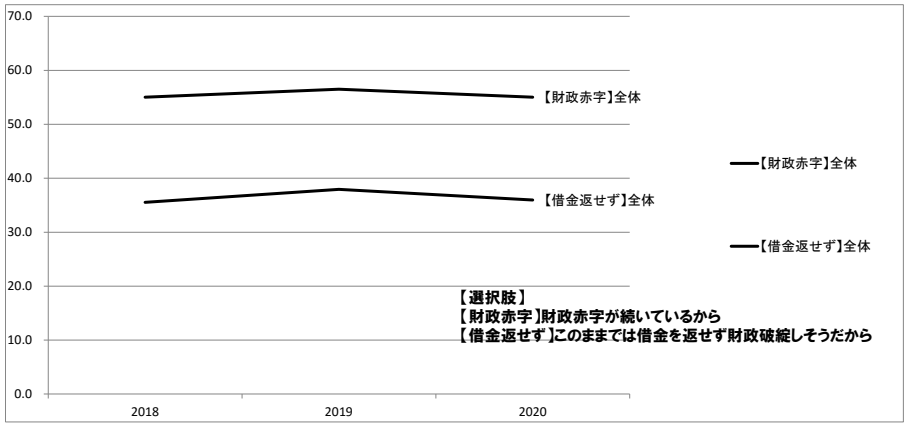
【時系列】現在の日本の財政状況（不安の理由） ※増加項目



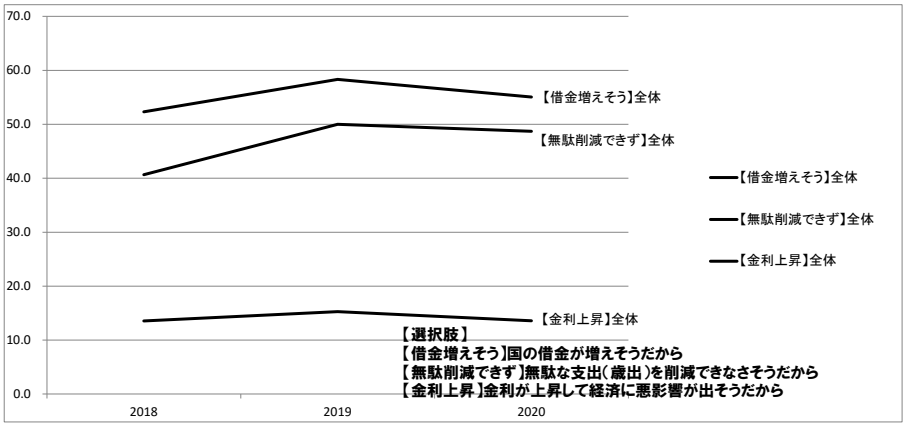
【時系列】10年後の日本の財政（悪化予想の理由） ※増加項目



【時系列】現在の日本の財政状況（不安の理由） ※減少項目



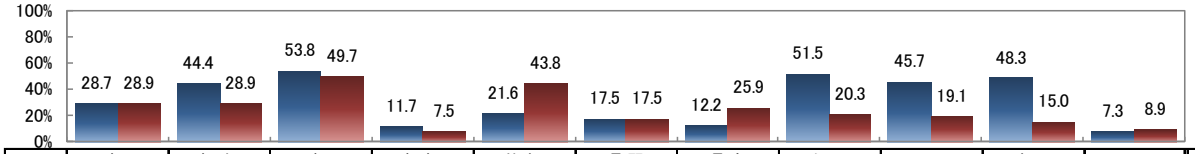
【時系列】10年後の日本の財政（悪化予想の理由） ※減少項目



税と保険料のイメージ

・税と保険料のイメージは、年代で下記の特徴がある
　「なるべく払いたくない」：若年層ほど高い（税・保険料両方）　－　「払えるなら払う」　：高齢層ほど高い（税のみ）
　「払う意義がわからない」：若年層ほど高い（保険料のみ）　　－　「払う意義はわかる」：高齢層ほど高い（税・保険料両方）
　その一方で、税・保険料両方において若年層ほど「自分に利益が還元される」と考えている
・ライフスタイル属性では、「なるべく払いたくない」「弱者に利益が還元される」「国がとりたてる」で特徴がある

【属性別】税と保険料のイメージ



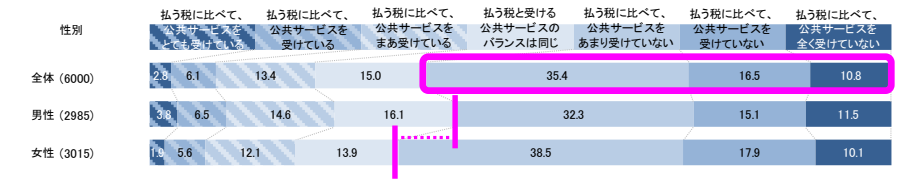
左：税
右：保険料

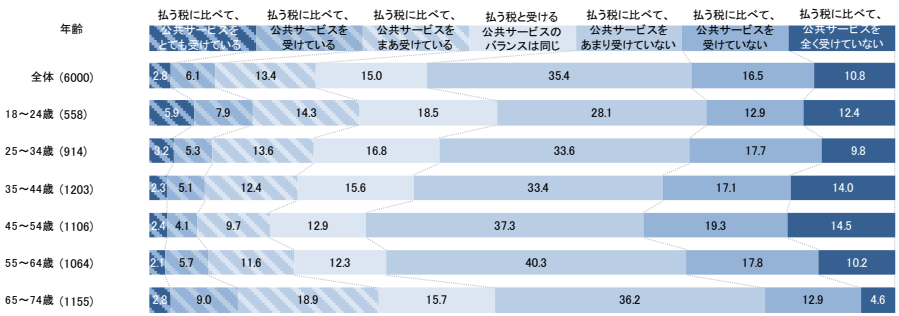
		(n)	払えるなら払う		なるべく払いたくない		払う意義はわかる		払う意義がわからない		相互に助け合う仕組み		弱者に利益が還元される		自分に利益が還元される		国や社会づくりのためのもの		国がとりたてる		国が使い方を決める		この中には一つもない		一人あたりの平均回答項目数	
全体		(6000)	28.7	28.9	44.4	28.9	53.8	49.7	11.7	7.5	21.6	43.8	17.5	17.5	12.2	25.9	51.5	20.3	45.7	19.1	48.3	15.0	7.3	8.9	3.35	2.56
性別	男性	(2985)	29.6	28.7	41.4	28.7	54.9	49.3	10.4	7.8	23.6	45.5	18.7	18.9	14.0	26.1	52.1	20.4	44.6	19.3	46.9	14.9	8.5	10.0	3.36	2.60
	女性	(3015)	27.8	29.1	47.3	29.1	52.7	50.0	12.9	7.2	19.7	42.2	16.4	16.1	10.4	25.6	51.0	20.1	46.9	18.9	49.6	15.1	6.1	7.7	3.35	2.53
年齢	18～24歳	(558)	23.8	28.0	43.5	29.9	46.1	43.5	17.6	10.4	19.7	31.7	18.6	19.0	14.7	28.7	45.0	19.0	37.8	15.9	44.1	13.8	10.2	12.9	3.11	2.40
	25～34歳	(914)	25.8	29.6	50.9	35.0	50.4	46.3	13.3	9.3	22.2	36.7	16.6	20.1	12.8	25.2	48.7	21.9	45.6	20.4	45.7	14.6	6.7	7.9	3.32	2.59
	35～44歳	(1203)	23.7	26.8	48.4	32.0	52.3	49.0	13.8	8.1	20.3	37.4	16.9	16.7	10.4	24.9	48.5	21.4	46.9	19.4	46.6	15.0	8.6	10.6	3.28	2.51
	45～54歳	(1106)	28.8	28.4	43.1	29.4	54.0	49.9	11.3	8.0	20.0	40.0	17.6	15.8	10.0	21.5	48.7	19.3	45.2	21.0	46.5	15.6	8.9	9.9	3.25	2.49
	55～64歳	(1064)	31.0	29.0	41.1	23.8	56.1	51.3	8.5	5.3	22.8	49.2	16.3	16.5	11.9	25.4	54.4	19.5	45.8	17.1	48.4	13.9	6.0	7.7	3.36	2.51
	65～74歳	(1155)	36.4	31.3	39.6	24.6	59.5	54.4	8.5	5.5	23.8	60.6	19.5	17.9	14.8	30.6	60.1	20.0	48.9	19.3	55.5	16.5	4.8	5.9	3.66	2.81
ライフスタイル属性	男性	(2985)	29.6	28.7	41.4	28.7	54.9	49.3	10.4	7.8	23.6	45.5	18.7	18.9	14.0	26.1	52.1	20.4	44.6	19.3	46.9	14.9	8.5	10.0	3.36	2.60
	女性	(3015)	27.8	29.1	47.3	29.1	52.7	50.0	12.9	7.2	19.7	42.2	16.4	16.1	10.4	25.6	51.0	20.1	46.9	18.9	49.6	15.1	6.1	7.7	3.35	2.53
	若年層（18-24歳）	(558)	23.8	28.0	43.5	29.9	46.1	43.5	17.6	10.4	19.7	31.7	18.6	19.0	14.7	28.7	45.0	19.0	37.8	15.9	44.1	13.8	10.2	12.9	3.11	2.40
	高齢層（65-74歳）	(1155)	36.4	31.3	39.6	24.6	59.5	54.4	8.5	5.5	23.8	60.6	19.5	17.9	14.8	30.6	60.1	20.0	48.9	19.3	55.5	16.5	4.8	5.9	3.66	2.81
	学生（高校生・大学生・大学院生）	(271)	26.2	27.7	37.6	24.0	52.4	47.6	11.8	7.0	21.4	33.2	20.3	18.8	16.2	28.8	46.1	19.6	33.9	14.0	42.4	10.7	7.7	12.2	3.08	2.31
	会社員・自営業・公務員等	(3169)	26.2	27.4	44.4	30.0	52.9	48.7	11.3	8.4	21.7	42.4	17.9	17.9	12.0	25.0	50.1	20.3	45.5	19.5	46.2	14.5	7.9	9.4	3.28	2.54
	パート／アルバイト	(823)	32.1	32.2	49.9	30.9	51.2	47.8	15.6	8.0	20.2	40.2	14.6	14.9	10.0	26.9	51.2	19.9	47.8	20.7	51.0	16.3	5.8	7.0	3.43	2.58
	年金生活者・無職	(771)	35.9	33.2	40.2	28.0	59.7	54.9	9.6	6.4	23.6	55.4	18.2	19.3	15.7	29.3	57.2	21.5	45.9	18.8	52.5	16.0	7.9	9.2	3.58	2.83
	主婦・主夫	(944)	28.7	28.1	44.9	25.7	54.4	51.1	11.2	5.3	20.6	45.0	17.5	16.3	10.7	24.3	53.6	19.6	47.7	17.6	50.6	15.7	6.0	7.5	3.40	2.49
	子育て層	(1639)	26.9	29.0	46.1	29.7	54.9	50.2	13.4	7.9	22.0	42.0	19.0	18.9	12.0	26.5	52.5	20.8	45.5	17.6	48.9	15.3	5.9	7.3	3.41	2.58

払う税と受ける公共サービスのバランス

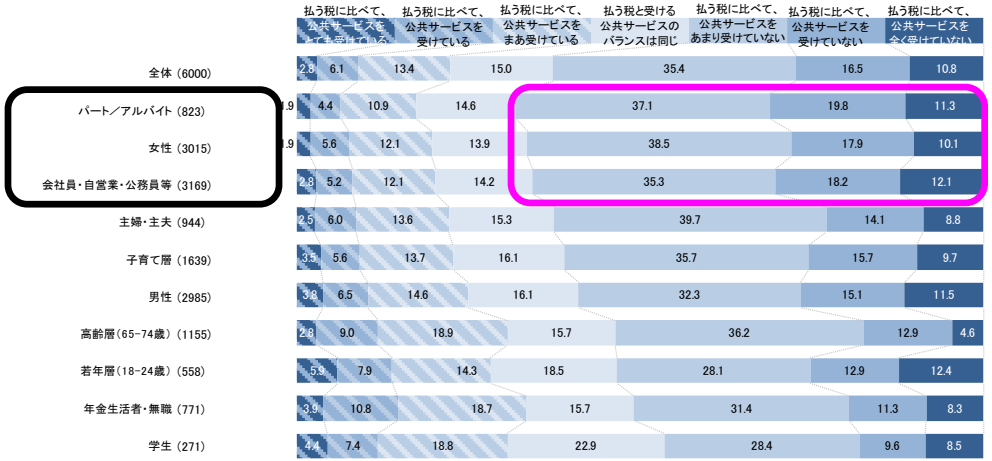
・払う税と受ける公共サービスのバランスは、「公共サービスを受けていない」と考えている層（「非受益」層）が6割超　とくに女性で非受益感が高い
・ライフスタイル属性では、「パート／アルバイト」「女性」「会社員・自営業・公務員等」で非受益感が高く、「非受益」層は65%を超える

【性別・年代】払う税と受ける公共サービスのバランス





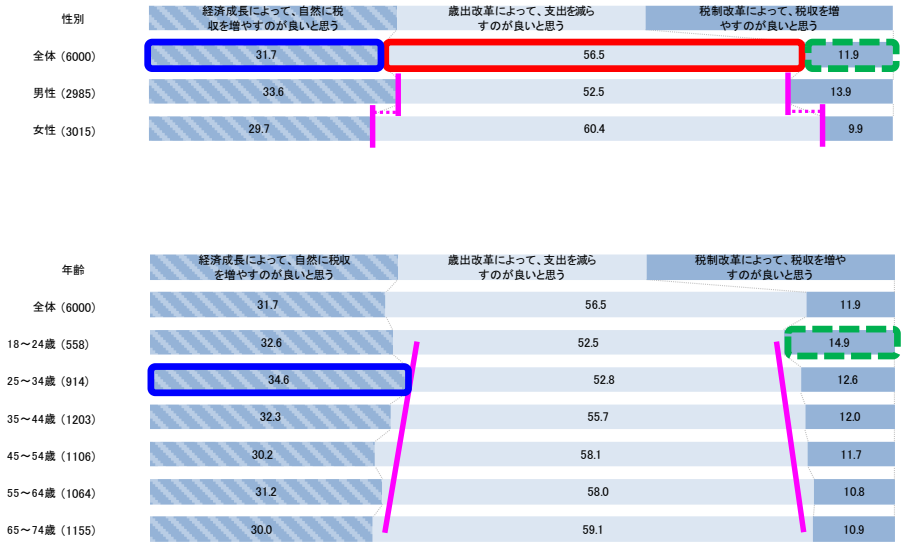
【ライフスタイル属性】払う税と受ける公共サービスのバランス



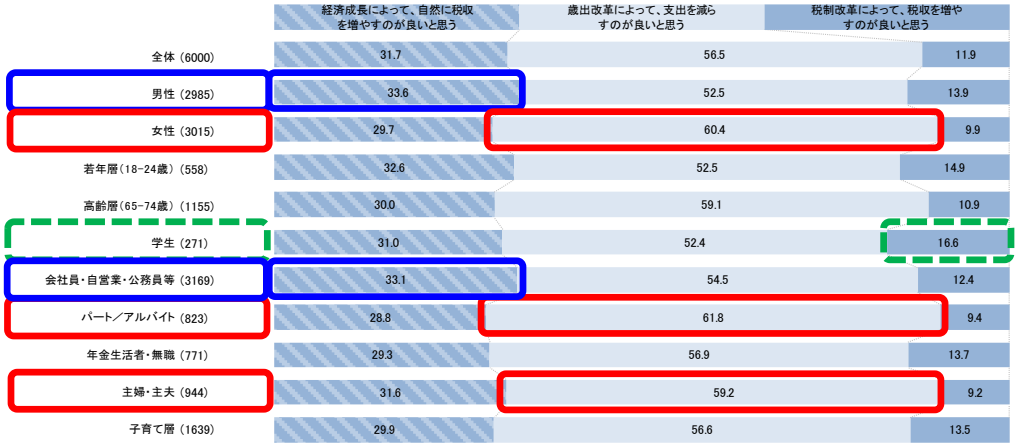
財政の改善策

・財政の改善策は、「歳出改革」が最も高く約6割　次いで「経済成長」が約3割、「税制改革」が約1割
・財政の改善策は年代が上がるにつれて「歳出改革」の割合が上がる傾向（年代別）　※高齢層ほど「歳出改革」
・財政の改善策は、それぞれで下記の特徴がある
　「歳出改革」：その他の属性と比較して「女性」「パート／アルバイト」「主婦・主夫」で割合が高い
　「経済成長」：その他の属性と比較して「男性」「会社員・自営業・公務員等」で割合が高い
　「税制改革」：その他の属性と比較して「学生」で割合が高い

【性別・年代】財政の改善策



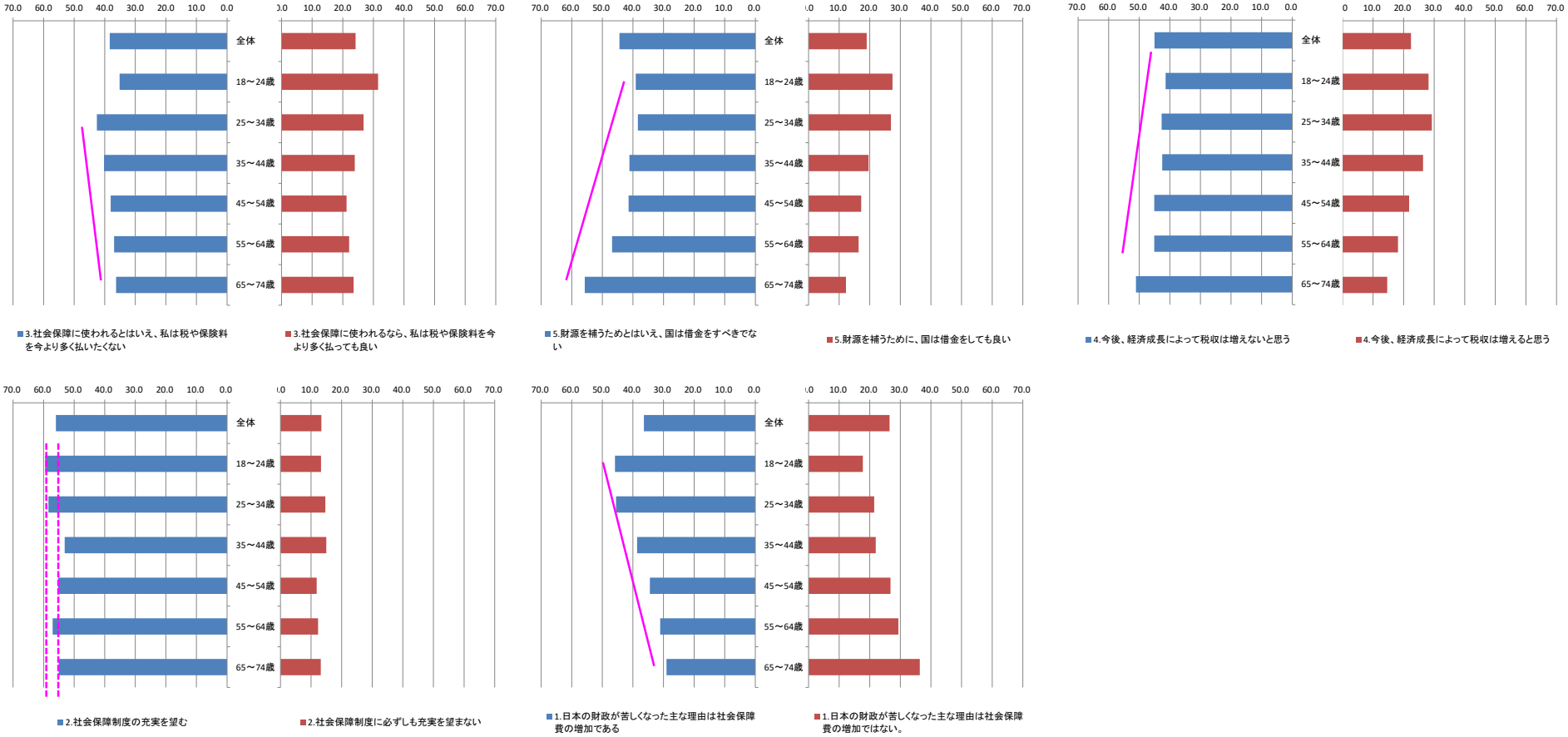
【ライフスタイル属性】財政の改善策



財政と社会保障に関する意見（属性別結果）

・財政と社会保障に関する意見は、年代別では下記の特徴がある
「社会保障に使われるとはいえ、私は税や保険料を今より多く払いたくない」：25-34歳で高い（年代が上がるにつれて減少傾向）
「財源を補うためとはいえ、国は借金をすべきでない」：高齢層で高い（年代が上がるにつれて増加傾向）
「今後、経済成長によって税収は増えないと思う」：高齢層で高い（年代が上がるにつれて増加傾向）
「社会保障制度の充実を望む」：若年層で高い（年代による差が小さい）
「日本の財政が苦しくなった理由は社保の増加である」：若年層で高い（年代が下がるにつれて増加傾向）

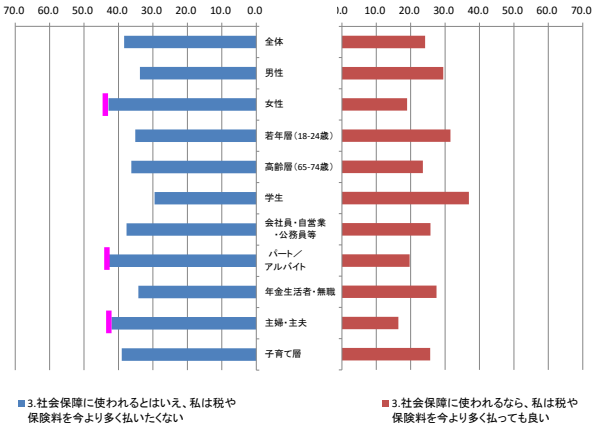
【性別・年代】財政と社会保障に関する意見

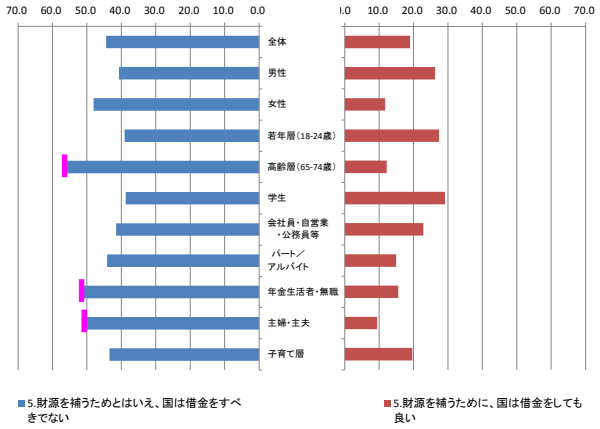


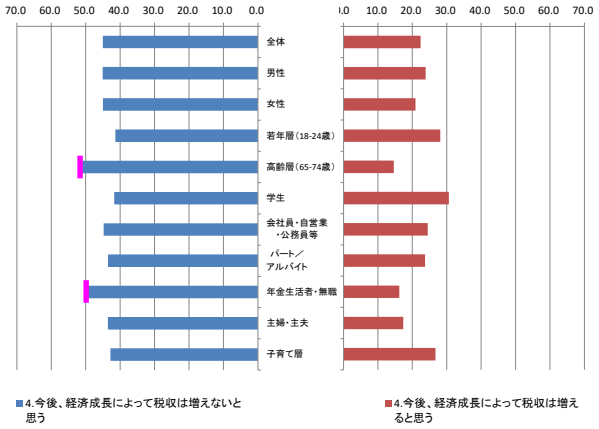
財政と社会保障に関する意見（属性別結果） ※ライフスタイル属性

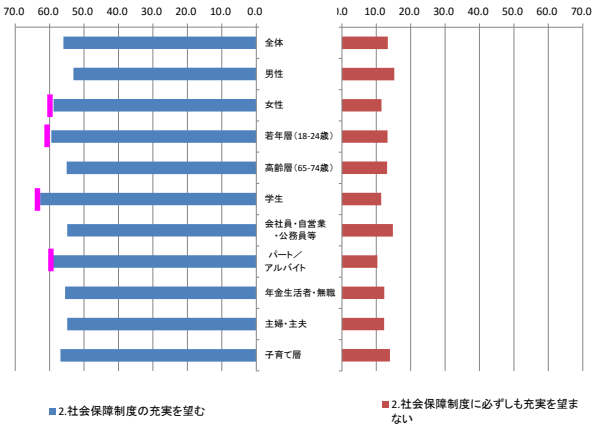
・財政と社会保障に関する意見は、ライフスタイル属性別では下記の特徴がある
「社会保障に使われるとはいえ、税や保険料を多く払いたくない」:「女性」「パート／アルバイト」「主婦・主夫」で高い
「財源を補うためとはいえ、国は借金をすべきでない」 :「高齢層」「年金生活者等」「主婦・主夫」で高い
「今後、経済成長によって税収は増えないと思う」 :「高齢層」「年金生活者等」で高い
「社会保障制度の充実を望む」 : 「女性」「若年層」「学生」「パート／アルバイト」で高い
「日本の財政が苦しくなった理由は社保の増加である」 : 「若年層」「学生」で高い

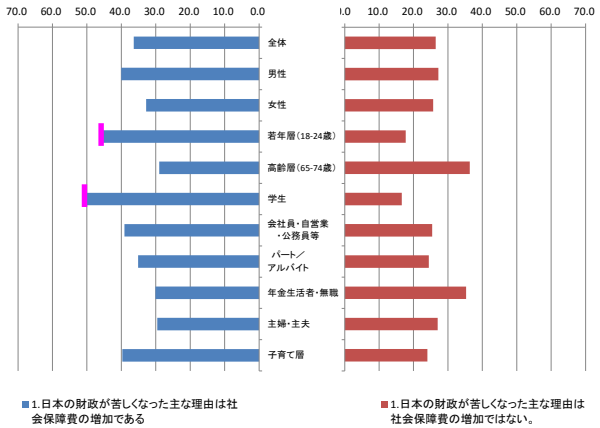
【ライフスタイル属性】財政と社会保障に関する意見







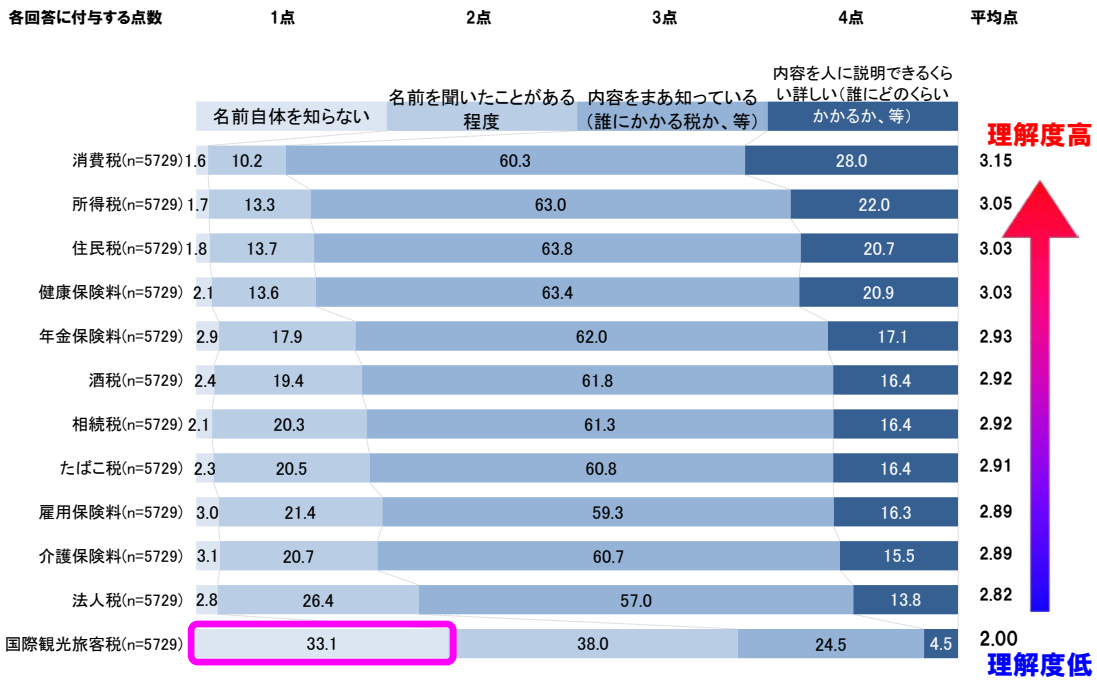




税および保険料の理解度（税・保険料別）

・税および保険料の理解度（平均）で、最も理解度が高い税・保険料は「消費税」で、次いで「所得税」「住民税」
・最も理解度が低い税・保険料は「国際観光旅客税」で名前自体を知らない割合は3割を超える
・税および保険料の理解度（平均）は、昨年と変わらない

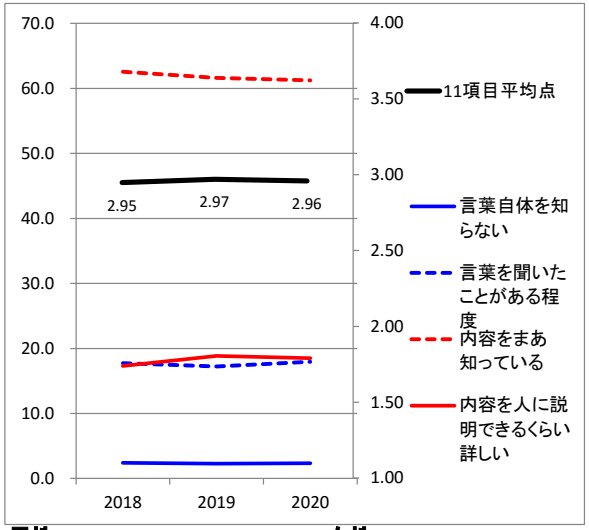
【税・保険料別】税および保険料の理解度　※12項目の平均点が高い順



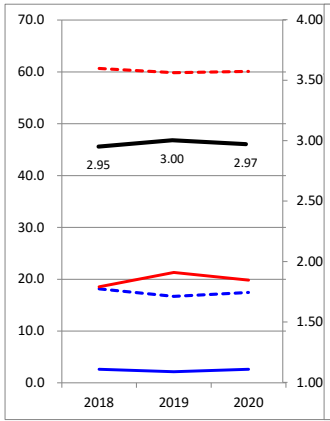
※n=（職業が「高校生」「大学生／大学院生」以外）

【時系列】税および保険料の理解度　※11項目（割合・平均）

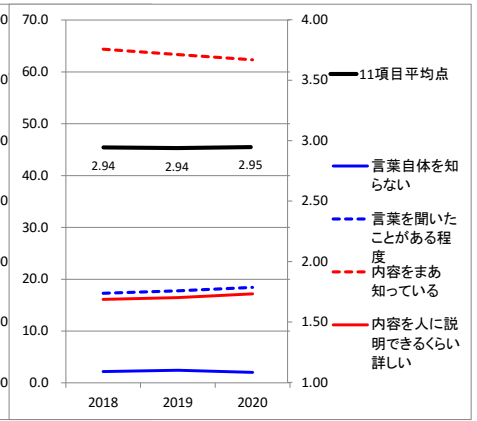
全体



男性



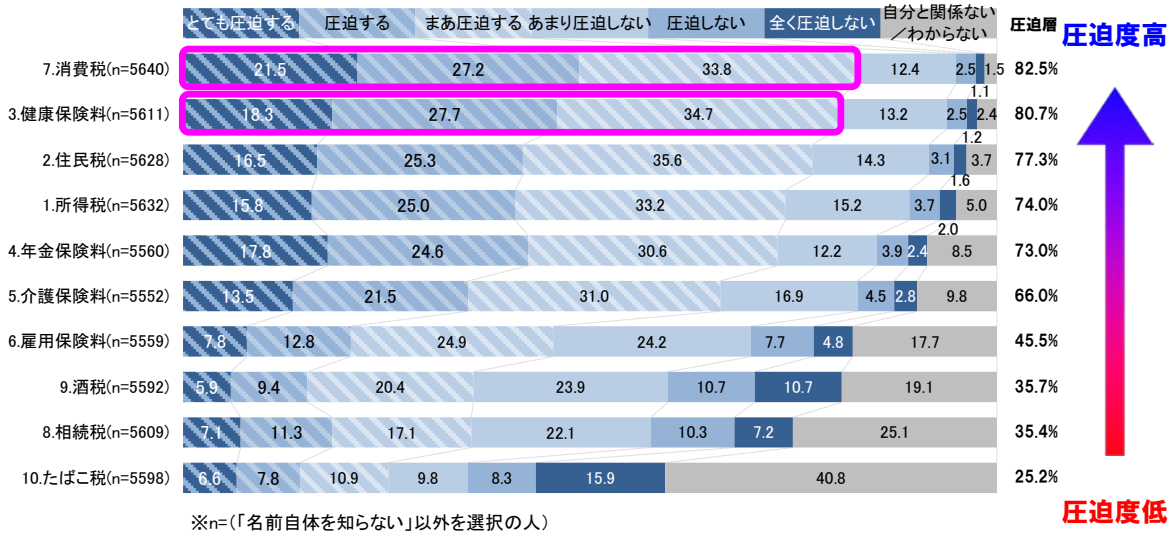
女性



税および保険料の負担度（税・保険料別）

・税および保険料に対し負担感を感じている層の割合は高い
・最も負担感が高いと感じている税・保険料は「消費税」、次いで「健康保険料」 いずれも8割を超える

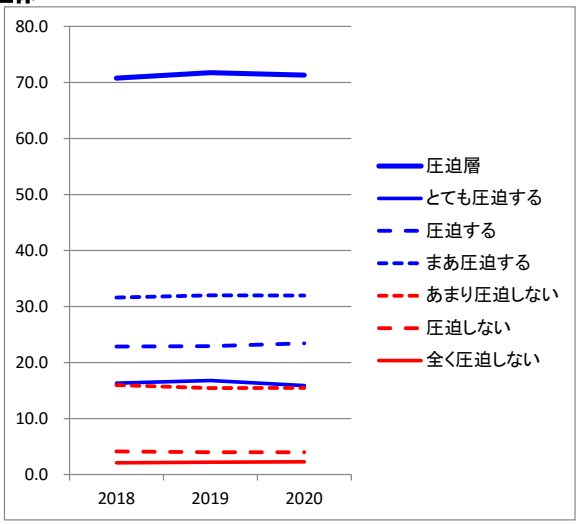
【税・保険料別】税および保険料の負担度　※10項目の圧迫層（「とても圧迫」+「圧迫」+「まあ圧迫」の合計）の高い順



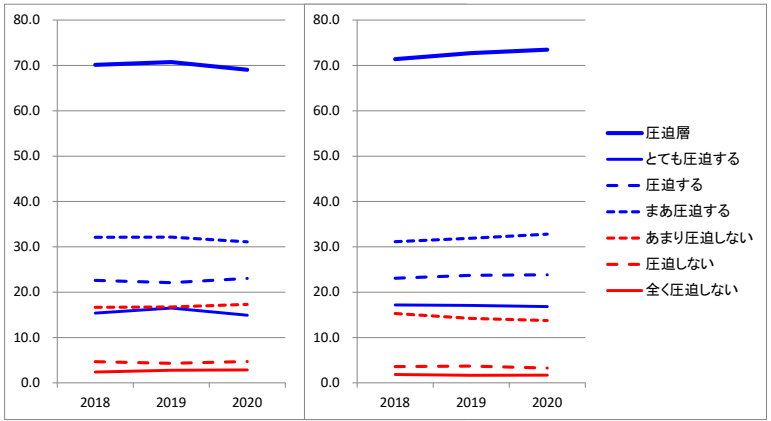
※n=（「名前自体を知らない」以外を選択の人）

【時系列】税および保険料の負担度　※7項目平均（8.相続税、9.酒税、10.たばこ税は除く）

全体



男性　女性



税および保険料の負担度（属性別結果） ※ライフスタイル属性

・ライフスタイル属性では、「消費税」について「男性」「高齢層（65-74歳）」「年金生活者・無職」を除く属性で最も負担感が高いと感じている
・また下記属性で割合が高い（75%を超える）項目に特徴がある　全体の「消費税」「健康保険料」「住民税」以外のもの
「会社員・自営業・公務員等」 :「所得税」
「高齢層（65-74歳）」 :「介護保険料」
「女性」 :「所得税」「年金保険料」
「パート／アルバイト」 :「年金保険料」「所得税」
「子育て層」 : 「所得税」「年金保険料」

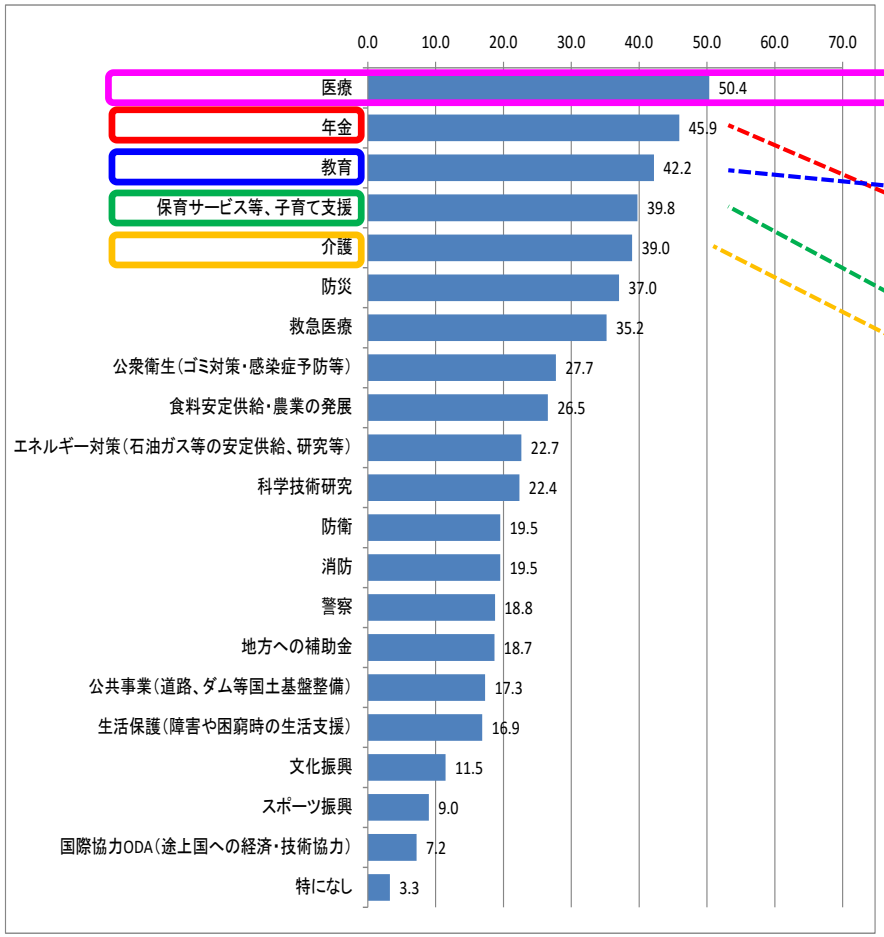
【ライフスタイル属性】税および保険料の負担度　※各項目「とても圧迫」+「圧迫」+「まあ圧迫」の合計

	全体	男性	女性	若年層（18-24歳）	高齢層（65-74歳）	学生	会社員・自営業・公務員等	パート／アルバイト	年金生活者・無職	主婦・主夫	子育て層
第1位	消費税 82.5	健康保険料 77.9	消費税 87.1	消費税 79.3	介護保険料 83.7	－ －	消費税 住民税 81.1	消費税 88.9	健康保険料 78.6	消費税 85.8	消費税 86.0
第2位	健康保険料 80.7	消費税 77.8	健康保険料 83.4	住民税 77.2	健康保険料 82.6	－ －		健康保険料 84.2	消費税 77.6	健康保険料 82.3	住民税 83.5
第3位	住民税 77.3	住民税 75.7	住民税 78.8	所得税 74.5	消費税 78.9	－ －	所得税 80.3	年金保険料 79.5	介護保険料 74.4	住民税 76.7	所得税 81.9
第4位	所得税 74.0	所得税 72.4	所得税 75.6	健康保険料 73.4	住民税 67.7	－ －	健康保険料 79.8	住民税 79.4	住民税 60.6	所得税 71.6	年金保険料 81.5
第5位	年金保険料 73.0	年金保険料 70.5	年金保険料 75.5	年金保険料 73.1	所得税 57.6	－ －	年金保険料 79.1	所得税 75.3	所得税 49.6	介護保険料 71.0	健康保険料 80.5
第6位	介護保険料 66.0	介護保険料 64.0	介護保険料 68.0	雇用保険料 59.1	年金保険料 50.0	－ －	介護保険料 61.9	介護保険料 68.3	年金保険料 47.1	年金保険料 68.4	介護保険料 59.8
第7位	雇用保険料 45.5	雇用保険料 45.0	雇用保険料 45.9	介護保険料 43.4	相続税 33.7	－ －	雇用保険料 53.4	雇用保険料 48.9	酒税 29.6	雇用保険料 39.4	雇用保険料 55.5
第8位	酒税 35.7	相続税 36.7	酒税 35.3	酒税 34.4	酒税 31.3	－ －	相続税 36.9	酒税 38.7	相続税 28.0	酒税 36.6	酒税 38.3
第9位	相続税 35.4	酒税 36.1	相続税 34.2	相続税 33.2	雇用保険料 20.1	－ －	酒税 36.1	相続税 38.1	たばこ税 17.8	相続税 34.3	相続税 36.6
第10位	たばこ税 25.2	たばこ税 26.5	たばこ税 24.0	たばこ税 24.8	たばこ税 16.5	－ －	たばこ税 27.0	たばこ税 29.9	雇用保険料 16.8	たばこ税 21.5	たばこ税 28.2

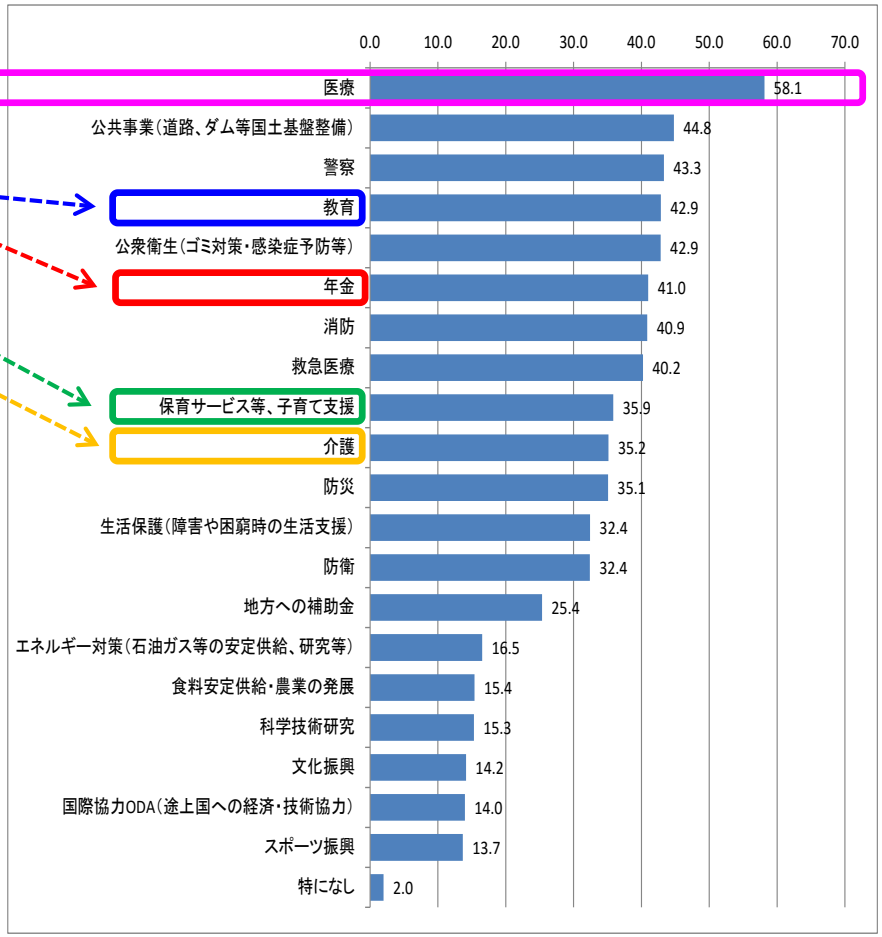
生活に還元されていると感じる公共サービス／強化して欲しい公共サービス

・「強化して欲しい公共サービス」は、「医療」の約5割が最も高く、ついで4，5割で「年金」「教育」「子育て支援」「介護」続く
・対して、「税が自分の生活に還元されていると感じる公共サービス」は、「医療」の約6割が最も高く、ついで5割弱で「公共事業」「警察」「教育」「公衆衛生」などが続く

【公共サービス別】強化して欲しい



【公共サービス別】税が自分の生活に還元されている／ 活かされていると感じる



生活に還元されていると感じる公共サービス／強化して欲しい公共サービス（属性別結果） ※ライフスタイル属性

・上位3項目で「強化して欲しい公共サービス」「生活に還元されていると感じる公共サービス」でその一致度合いは以下のとおり
- 3つとも一致（順不同）：「子育て層」 ※教育／子育て支援／医療
- 2つ一致（順不同）：「18-24歳（教育／医療）」「学生（教育／医療）」「65-74歳（年金／医療）」「年金生活者・無職（年金／医療）」
- 1つ一致（順不同）：「全体」「男性」「会社員・自営業・公務員等」「女性」「パート／アルバイト」「主婦・主夫」 ※すべて医療で一致
- 一致なし（順不同）：なし

【ライフスタイル属性】強化して欲しい公共サービス ／生活に還元されていると感じる公共サービス ※上位10項目

全体

	強化して欲しい公共サービス	還元されていると感じる公共サービス
第1位	医療 50.4	医療 58.1
第2位	年金 45.9	公共事業 44.8
第3位	教育 42.2	警察 43.3
第4位	子育て支援 39.8	教育 公衆衛生 42.9
第5位	介護 39.0	年金 32.8
第6位	防災 37.0	消防 40.9
第7位	救急医療 35.2	年金 40.2
第8位	公衆衛生 27.7	子育て支援 35.9
第9位	食料安定供給 26.5	介護 35.2
第10位	ｴﾈﾙｷﾞｰ対策 22.7	

男性

	強化して欲しい公共サービス	還元されていると感じる公共サービス
第1位	医療 47.1	医療 57.0
第2位	年金 45.0	警察 48.0
第3位	教育 43.2	公共事業 47.9
第4位	子育て支援 39.2	消防 44.2
第5位	防災 38.5	教育 43.9
第6位	介護 36.1	公衆衛生 43.2
第7位	救急医療 34.2	年金 43.1
第8位	公衆衛生 27.6	救急医療 41.5
第9位	科学技術研究 27.1	防衛 39.1
第10位	食料安定供給 26.8	防災 38.3

女性

	強化して欲しい公共サービス	還元されていると感じる公共サービス
第1位	医療 53.5	医療 59.3
第2位	年金 46.8	公衆衛生 42.5
第3位	介護 41.8	教育 41.8
第4位	教育 41.2	公共事業 41.7
第5位	子育て支援 40.4	子育て支援 39.6
第6位	救急医療 36.2	救急医療 39.0
第7位	防災 35.6	年金 38.9
第8位	公衆衛生 27.8	警察 38.7
第9位	食料安定供給 26.3	消防 37.5
第10位	ｴﾈﾙｷﾞｰ対策 19.5	介護 36.0

若年層（18-24歳）

	強化して欲しい公共サービス	還元されていると感じる公共サービス
第1位	教育 45.5	医療 51.6
第2位	子育て支援 45.3	公共事業 41.2
第3位	医療 43.9	教育 40.9
第4位	年金 31.7	警察 38.0
第5位	防災 31.0	消防 35.3
第6位	救急医療 30.1	救急医療 33.2
第7位	介護 28.7	公衆衛生 32.6
第8位	公衆衛生 25.6	年金 31.4
第9位	食料安定供給 24.7	子育て支援 29.2
第10位	科学技術研究 26.9	防災 27.1

高齢層（65-74歳）

	強化して欲しい公共サービス	還元されていると感じる公共サービス
第1位	年金 61.0	医療 68.5
第2位	医療 58.2	年金 65.3
第3位	介護 48.5	警察 54.5
第4位	防災 46.8	公衆衛生 52.9
第5位	教育 41.3	公共事業 52.8
第6位	救急医療 39.7	消防 52.6
第7位	子育て支援 37.6	救急医療 52.5
第8位	食料安定供給 30.8	介護 51.8
第9位	公衆衛生 30.0	教育 49.3
第10位	科学技術研究 29.5	防災 46.8

学生

	強化して欲しい公共サービス	還元されていると感じる公共サービス
第1位	教育 49.4	医療 53.1
第2位	子育て支援 43.5	教育 44.6
第3位	医療 40.2	公共事業 44.3
第4位	防災 34.3	警察 42.8
第5位	介護 31.7	消防 38.7
第6位	年金 29.2	公衆衛生 34.7
第7位	救急医療 28.0	年金 34.3
第8位	食料安定供給 25.1	救急医療 32.8
第9位	科学技術研究 24.0	防災 31.0
第10位	公衆衛生 23.2	防衛 介護 26.2

会社員・自営業・公務員等

	強化して欲しい公共サービス	還元されていると感じる公共サービス
第1位	医療 47.4	医療 55.4
第2位	教育 42.9	公共事業 44.1
第3位	年金 42.7	警察 42.3
第4位	子育て支援 40.7	教育 公衆衛生 41.5
第5位	介護 36.1	消防 39.5
第6位	防災 35.0	救急医療 37.9
第7位	救急医療 33.7	年金 35.9
第8位	公衆衛生 27.5	防災 子育て支援 34.0
第9位	食料安定供給 25.6	
第10位	ｴﾈﾙｷﾞｰ対策 22.6	

パート／アルバイト

	強化して欲しい公共サービス	還元されていると感じる公共サービス
第1位	医療 54.4	医療 58.4
第2位	年金 48.6	子育て支援 41.7
第3位	介護 42.2	教育 41.4
第4位	教育 40.9	公共事業 40.6
第5位	子育て支援 38.5	公衆衛生 40.1
第6位	救急医療 37.4	年金 39.7
第7位	防災 35.0	警察 39.5
第8位	公衆衛生 27.1	救急医療 38.5
第9位	食料安定供給 26.2	介護 37.5
第10位	ｴﾈﾙｷﾞｰ対策 21.1	生活保護 36.5

年金生活者・無職

	強化して欲しい公共サービス	還元されていると感じる公共サービス
第1位	年金 57.7	医療 67.8
第2位	医療 55.9	年金 61.3
第3位	防災 46.4	消防 53.8
第4位	介護 46.3	警察 53.6
第5位	教育 39.4	公共事業 51.8
第6位	救急医療 38.7	救急医療 51.5
第7位	子育て支援 36.4	公衆衛生 49.0
第8位	科学技術研究 32.4	教育 46.4
第9位	公衆衛生 30.2	防災 45.7
第10位	食料安定供給 29.1	防衛 44.6

主婦・主夫

	強化して欲しい公共サービス	還元されていると感じる公共サービス
第1位	医療 55.5	医療 60.3
第2位	年金 49.7	公衆衛生 46.8
第3位	介護 41.9	公共事業 45.4
第4位	教育 41.2	教育 45.2
第5位	子育て支援 39.3	年金 44.3
第6位	防災 38.3	子育て支援 42.9
第7位	救急医療 37.9	救急医療 41.9
第8位	食料安定供給 28.4	警察 41.5
第9位	公衆衛生 28.2	消防 39.8
第10位	ｴﾈﾙｷﾞｰ対策 20.2	介護 38.3

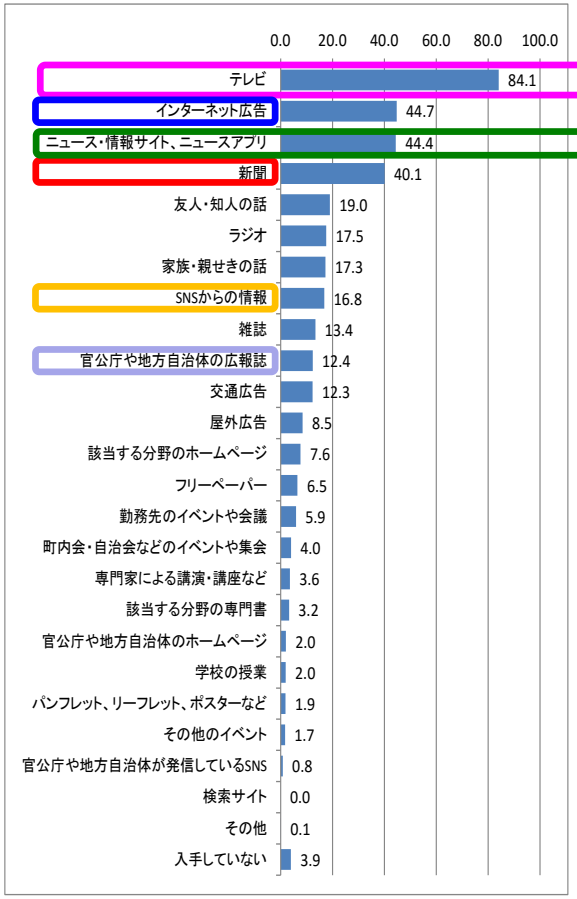
子育て層

	強化して欲しい公共サービス	還元されていると感じる公共サービス
第1位	教育 57.6	医療 58.2
第2位	子育て支援 54.7	教育 53.0
第3位	医療 49.6	子育て支援 52.6
第4位	年金 39.8	公共事業 43.7
第5位	介護 35.2	警察 41.1
第6位	救急医療 34.9	公衆衛生 40.6
第7位	防災 33.6	救急医療 消防 38.3
第8位	公衆衛生 27.2	年金 33.8
第9位	食料安定供給 25.1	防災 33.1
第10位	ｴﾈﾙｷﾞｰ対策 20.4	

情報源と利用したいと思う広報活動（媒体別）

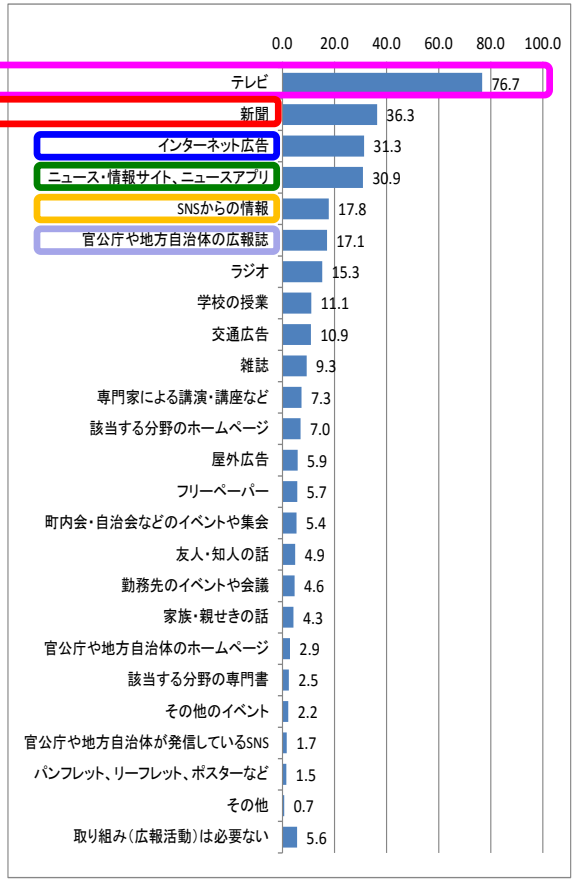
・最も割合が高い媒体はいずれも「テレビ」で、第２位の媒体の割合とは35～40%程度の開きがある
・いずれも2位3位4位は「新聞」もしくは「インターネット広告」もしくは「ニュース・情報サイト、ニュースアプリ」

【媒体別】日頃の情報源



【媒体別】財政等の情報源

【媒体別】利用したいと思う広報活動



情報源と利用したいと思う広報活動（属性別結果） ※ライフスタイル属性

・「利用したいと思う広報活動」に対し、「財政等の情報源」「日頃の情報源」の実態から、最も適切なのは「テレビ」
・「テレビ」以外の媒体で適切と思われるのは以下のとおりで「新聞」「インターネット広告」「ニュースサイト」が多く挙がる
・ライフスタイル属性別で、見ると以下が目立つ
　「若年層（18-24歳）」　:「SNS情報」「交通広告」「屋外広告」
　「学生」　:「SNS情報」「交通広告」「学校の授業」「屋外広告」
　「高齢層（65-74歳）」　:「広報誌」「講演・講座」「該当分野のHP」「イベント・集会」
　「年金生活者・無職」　:「講演・講座」

【ライフスタイル属性】利用したいと思う広報活動／財政等の情報源／日頃の情報源

全体

	利用したいと思う広報活動	「財政や社会保障、政治・経済等」に関する情報源	日頃の情報源
第1位	テレビ 76.7	テレビ 69.4	テレビ 84.1
第2位	新聞 36.3	新聞 34.3	インターネット広告 44.7
第3位	インターネット広告 31.3	ニュースサイト 32.2	ニュースサイト 44.4
第4位	ニュースサイト 30.9	インターネット広告 25.1	新聞 40.1
第5位	SNS情報 17.8	広報誌 10.3	友人・知人の話 19.0
第6位	広報誌 17.1	ラジオ 9.1	ラジオ 17.5
第7位	ラジオ 15.3	SNS情報 8.1	家族等の話 17.3
第8位	学校の授業 11.1	家族等の話 7.4	SNS情報 16.8
第9位	交通広告 10.9	友人・知人の話 7.2	雑誌 13.4
第10位	雑誌 9.3	雑誌 6.1	広報誌 12.4

男性

	利用したいと思う広報活動	「財政や社会保障、政治・経済等」に関する情報源	日頃の情報源
第1位	テレビ 72.5	テレビ 63.1	テレビ 79.1
第2位	新聞 38.0	新聞 37.8	ニュースサイト 45.5
第3位	インターネット広告 32.5	ニュースサイト 35.5	インターネット広告 43.6
第4位	ニュースサイト 31.9	インターネット広告 27.3	新聞 42.8
第5位	ラジオ 17.0	ラジオ 11.2	ラジオ 20.5
第6位	SNS情報 15.8	広報誌 10.1	雑誌 14.7
第7位	広報誌 15.7	雑誌 8.4	友人・知人の話 14.3
第8位	雑誌 10.6	SNS情報 7.9	SNS情報 13.8
第9位	学校の授業 10.3	該当分野のHP 6.5	交通広告 11.7
第10位	交通広告 9.0	友人・知人の話 6.4	広報誌 11.5

女性

	利用したいと思う広報活動	「財政や社会保障、政治・経済等」に関する情報源	日頃の情報源
第1位	テレビ 80.9	テレビ 75.6	テレビ 89.0
第2位	新聞 34.7	新聞 30.9	インターネット広告 45.9
第3位	インターネット広告 30.2	ニュースサイト 29.0	ニュースサイト 43.3
第4位	ニュースサイト 29.9	インターネット広告 22.8	新聞 37.3
第5位	SNS情報 19.7	広報誌 10.4	友人・知人の話 23.5
第6位	広報誌 18.4	家族等の話 9.9	家族等の話 23.4
第7位	ラジオ 13.6	SNS情報 8.3	SNS情報 19.8
第8位	交通広告 12.7	友人・知人の話 7.9	ラジオ 14.6
第9位	学校の授業 11.9	ラジオ 7.0	広報誌 13.2
第10位	雑誌 8.1	雑誌 3.7	交通広告 12.9

若年層（18-24歳）

	利用したいと思う広報活動	「財政や社会保障、政治・経済等」に関する情報源	日頃の情報源
第1位	テレビ 63.6	テレビ 60.2	テレビ 76.2
第2位	SNS情報 36.9	ニュースサイト 27.8	インターネット広告 47.3
第3位	インターネット広告 32.6	インターネット広告 25.8	ニュースサイト 39.4
第4位	ニュースサイト 22.0	SNS情報 19.5	SNS情報 37.1
第5位	新聞 20.8	新聞 18.1	交通広告 26.2
第6位	交通広告 19.5	家族等の話 12.5	新聞 家族等の話 22.6
第7位	学校の授業 15.4	友人・知人の話 9.1	友人・知人の話 20.3
第8位	屋外広告 10.8	交通広告 8.2	屋外広告 14.3
第9位	ラジオ 雑誌 10.2	学校の授業 7.7	ラジオ 12.5
第10位		ラジオ 6.3	

高齢層（65-74歳）

	利用したいと思う広報活動	「財政や社会保障、政治・経済等」に関する情報源	日頃の情報源
第1位	テレビ 88.1	テレビ 79.2	テレビ 93.2
第2位	新聞 61.0	新聞 60.7	新聞 67.5
第3位	広報誌 31.9	ニュースサイト 33.6	ニュースサイト 46.1
第4位	ニュースサイト 31.4	インターネット広告 22.2	インターネット広告 40.3
第5位	インターネット広告 28.1	広報誌 19.3	広報誌 24.0
第6位	ラジオ 20.1	ラジオ 10.5	友人・知人の話 21.9
第7位	学校の授業 12.8	友人・知人の話 8.8	ラジオ 20.5
第8位	講演・講座 11.4	雑誌 7.6	家族等の話 17.3
第9位	該当分野のHP 9.5	家族等の話 7.2	雑誌 14.5
第10位	イベント・集会 8.9	該当分野のHP 6.1	該当分野のHP 8.3

学生

	利用したいと思う広報活動	「財政や社会保障、政治・経済等」に関する情報源	日頃の情報源
第1位	テレビ 61.6	テレビ 56.1	テレビ 70.8
第2位	SNS情報 39.9	ニュースサイト 33.2	インターネット広告 47.2
第3位	インターネット広告 35.8	インターネット広告 25.8	ニュースサイト 43.9
第4位	ニュースサイト 23.2	SNS情報 21.8	SNS情報 36.2
第5位	交通広告 学校の授業 21.0	新聞 20.3	交通広告 28.0
第6位		学校の授業 12.9	新聞 23.2
第7位	新聞 20.7	家族等の話 交通広告 8.9	友人・知人の話 21.4
第8位	ラジオ 10.0		学校の授業 18.8
第9位	屋外広告 9.6	友人・知人の話 8.5	家族等の話 17.7
第10位	雑誌 8.5	ラジオ 6.6	屋外広告 15.5

会社員・自営業・公務員等

	利用したいと思う広報活動	「財政や社会保障、政治・経済等」に関する情報源	日頃の情報源
第1位	テレビ 73.3	テレビ 64.4	テレビ 80.9
第2位	インターネット広告 32.2	ニュースサイト 33.7	インターネット広告 46.4
第3位	ニュースサイト 32.0	新聞 31.2	ニュースサイト 45.3
第4位	新聞 31.9	インターネット広告 27.2	新聞 36.2
第5位	SNS情報 17.9	ラジオ 10.4	ラジオ 19.3
第6位	ラジオ 15.3	広報誌 8.4	友人・知人の話 17.3
第7位	広報誌 13.7	SNS情報 8.2	SNS情報 16.8
第8位	交通広告 10.9	雑誌 7.4	家族等の話 雑誌 14.5
第9位	雑誌 10.1	友人・知人の話 7.1	
第10位	学校の授業 9.2	家族等の話 6.8	交通広告 13.9

パート／アルバイト

	利用したいと思う広報活動	「財政や社会保障、政治・経済等」に関する情報源	日頃の情報源
第1位	テレビ 81.5	テレビ 75.2	テレビ 88.3
第2位	新聞 35.1	新聞 31.6	インターネット広告 47.0
第3位	インターネット広告 32.0	ニュースサイト 27.9	ニュースサイト 41.9
第4位	ニュースサイト 28.9	インターネット広告 25.3	新聞 38.9
第5位	SNS情報 20.5	家族等の話 9.4	友人・知人の話 23.1
第6位	広報誌 17.6	広報誌 9.2	家族等の話 20.7
第7位	ラジオ 13.9	友人・知人の話 8.1	SNS情報 19.7
第8位	交通広告 10.7	SNS情報 7.8	ラジオ 14.5
第9位	学校の授業 10.2	ラジオ 6.7	雑誌 11.7
第10位	雑誌 8.0	雑誌 3.0	交通広告 11.5

年金生活者・無職

	利用したいと思う広報活動	「財政や社会保障、政治・経済等」に関する情報源	日頃の情報源
第1位	テレビ 80.3	テレビ 74.2	テレビ 87.2
第2位	新聞 52.8	新聞 50.6	新聞 55.1
第3位	ニュースサイト 32.0	ニュースサイト 35.9	ニュースサイト 46.7
第4位	インターネット広告 29.1	インターネット広告 21.8	インターネット広告 40.5
第5位	広報誌 26.1	広報誌 16.6	広報誌 18.4
第6位	ラジオ 17.5	ラジオ 8.7	ラジオ 17.8
第7位	学校の授業 13.0	雑誌 7.0	友人・知人の話 15.4
第8位	講演・講座 10.8	該当分野のHP 6.7	家族等の話 15.0
第9位	SNS情報 10.0	SNS情報 6.6	雑誌 12.2
第10位	雑誌 9.1	友人・知人の話 6.0	SNS情報 11.0

主婦・主夫

	利用したいと思う広報活動	「財政や社会保障、政治・経済等」に関する情報源	日頃の情報源
第1位	テレビ 85.4	テレビ 80.9	テレビ 92.2
第2位	新聞 43.3	新聞 37.9	新聞 46.2
第3位	ニュースサイト 30.1	ニュースサイト 27.4	ニュースサイト 41.6
第4位	インターネット広告 28.0	インターネット広告 19.9	インターネット広告 39.7
第5位	広報誌 24.4	広報誌 13.8	家族等の話 25.4
第6位	ラジオ 16.0	家族等の話 9.6	友人・知人の話 22.8
第7位	SNS情報 14.7	ラジオ 7.3	広報誌 18.1
第8位	学校の授業 13.1	友人・知人の話 6.9	ラジオ 15.0
第9位	交通広告 11.5	SNS情報 5.3	SNS情報 13.7
第10位	雑誌 8.5	雑誌 3.9	雑誌 12.6

子育て層

	利用したいと思う広報活動	「財政や社会保障、政治・経済等」に関する情報源	日頃の情報源
第1位	テレビ 76.9	テレビ 70.1	テレビ 85.2
第2位	インターネット広告 33.6	ニュースサイト 30.7	インターネット広告 48.0
第3位	ニュースサイト 31.9	インターネット広告 28.4	ニュースサイト 43.6
第4位	新聞 30.3	新聞 27.3	新聞 32.2
第5位	SNS情報 20.6	ラジオ 11.0	友人・知人の話 20.0
第6位	ラジオ 16.0	広報誌 8.2	家族等の話 18.7
第7位	広報誌 13.5	家族等の話 8.1	ラジオ 18.5
第8位	学校の授業 11.6	SNS情報 7.6	SNS情報 17.3
第9位	交通広告 11.5	友人・知人の話 7.1	雑誌 14.1
第10位	雑誌 9.6	雑誌 6.1	交通広告 11.7

Web調査結果のまとめ

【全体結果】

財政に関する用語の理解度

～理解度は依然として『非理解』層が『理解』層を上回っている状況～ 若年層ほど理解度が低く、さらには女性で低い

日本の財政への不安度（現在・将来）

～ネガティブ層が微増～ 高齢層ほどネガティブ層の割合が高く、さらには女性で高い

財政への不安（理由）／将来の悪化予想（理由）

～高齢層ほど現在・将来に対する不安が大きく、不安理由の要素が多い～

財政への不安度（理由） :「現役減少」「増税」「医療費増加」「経済成長せず」「隠してそう」で前回より増加

将来の財政への悪化予想（理由） :「高齢化で税収減」「経済よくならない」「国の収入減」で前回より増加

税と保険料のイメージ

～若年層ほど税と保険料のイメージがネガティブ～

若年層ほど「なるべく払いたくない」 ※税・保険料両方 ― 高齢層ほど「払えるなら払う」 ※税のみ

若年層ほど「払う意義がわからない」※保険料のみ ― 高齢層ほど「払う意義はわかる」※税・保険料両方

払う税と受ける公共サービスのバランス

～『払う税に比べて、公共サービスを受けていない』と感じている層は依然6割超～ 女性でその割合が高い

財政の改善策

～「歳出改革」が最も高く5割超～ 高齢層ほどその割合が高く、さらには女性で高い

財政と社会保障に関する意見

～『税や保険料を今より多く払いたくない』と感じている層は4割前後～ ※上記「税と保険料のイメージ」と同様、若年層ほどその割合が高い

税および保険料の負担度

～税および保険料の負担度（圧迫すると感じている層）は依然として7割超え～ 女性やパート／アルバイトでその割合が高い

生活に還元されていると感じる公共サービス／強化して欲しい公共サービス

～生活に還元されていると感じる公共サービスは、「医療」「公共事業」「警察」「公衆衛生」～

～強化して欲しい公共サービスは「医療」「年金」「教育」「子育て支援」「介護」～

会社員・自営業・公務員等やパート／アルバイト、主婦・主夫は「強化して欲しい公共サービス」と「還元されていると感じる公共サービス」との一致が少ない（受益感低）

子育て層は「強化して欲しい公共サービス」と「還元されていると感じる公共サービス」との一致が多い（受益感高）

情報源と利用したいと思う広報活動

～利用したいと思う広報活動は、「テレビ（8割）」「新聞（4割）」、「インターネット広告」「ニュース・情報サイト、ニュースアプリ」等が3割超～

「財政等の情報源」「日頃の情報源」の実態からみた、広報活動に最も適切な媒体は「テレビ」以外では、「新聞」「インターネット広告」「ニュース・情報サイト、ニュースアプリ」

Web調査結果のまとめ

【赤字】ポジティブ項目／【青字】ネガティブ項目

【ライフスタイル属性別】特徴一覧

特徴	学生	若年層（18-24歳）	会社員・自営業・公務員等	パート／アルバイト	子育て層	高齢層（65-74歳）
財政用語の理解度	【時系列結果】理解度は依然として『非理解』層が『理解』層を上回っている状況　※一昨年とほぼ同じ 【年代別結果】若年層で理解度が低く、高齢層で高い　※ただし、学生は若年層（18~24歳）よりも理解度高					
日本の財政への不安度（現在・将来）					将来よりも現在が不安	年代別で割合高
税のイメージ	「自分に利益が還元される」	年代別で割合高 「払う意義がわからない」		「払えるなら払う」	「払う意義がわからない」	「国や社会づくりのためのもの」 「払う意義はわかる」 「国が使い方を決める」
保険料のイメージ		「払う意義がわからない」		「払えるなら払う」		「相互に助け合う仕組み」 「払う意義はわかる」 「自分に利益が還元される」
払う税と受ける公共サービスのバランス	受益感が高い 「公共サービスを受けている」	受益感が高い 「公共サービスを受けている」	非受益感が高い 「公共サービスを受けていない」	非受益感が高い 「公共サービスを受けていない」		受益感が高い 「公共サービスを受けている」
財政と社会保障に関する意見	「社会保障制度の充実を望む」	「社会保障制度の充実を望む」		「税や保険料を多く払いたくない」 「社会保障制度の充実を望む」		「国は借金をすべきでない」 「経済成長によって税収は増えないと思う」
財政と社会保障に関する意見（社保の充実）	「社保の充実を望む」割合は、「学生」「若年層」「パート／アルバイト」で高い					
税および保険料の負担度 ※75%以上のみ抜粋	-	「消費税（79.3%）」 「住民税（77.2%）」	「消費税（81.1%）」 「住民税（81.1%）」 「所得税（80.3%）」 「健康保険料（79.8%）」 「年金保険料（79.1%）」	「消費税（88.9%）」 「健康保険料（84.2%）」 「年金保険料（79.5%）」 「住民税（79.4%）」 「所得税（75.3%）」	「消費税（86.0%）」 「住民税（83.5%）」 「所得税（81.9%）」 「年金保険料（81.5%）」 「健康保険料（80.5%）」	「介護保険料（83.7%）」 「健康保険料（82.6%）」 「消費税（78.9%）」

Web調査結果のまとめ

【赤字】ポジティブ項目／【青字】ネガティブ項目

特徴	学生	若年層（18-24歳）	会社員・自営業・公務員等	パート／アルバイト	子育て層	高齢層（65-74歳）
「強化して欲しい」×「還元されている」公共サービス（医療）	「医療」はほとんどすべての各属性で最も高い割合 ※「強化して欲しい公共サービス」であり「生活に還元されていると感じる公共サービス」でもある					
「強化して欲しい」×「還元されている」公共サービス（上位3項目の一致）	「教育」 「医療」	「教育」 「医療」	「医療」	「医療」	「教育」 「子育て支援」 「医療」	「年金」 「医療」
「利用したい広報活動」×「財政等の情報源」×「日頃の情報源」（テレビ）	「テレビ」はほとんどすべての各属性で最も高い割合 ※「利用したい広報活動」であり「財政等の情報源」さらには「日頃の情報源」でもある					
「利用したい広報活動」	「SNS情報」 「交通広告」 「学校の授業」 「屋外広告」	「SNS情報」 「交通広告」 「屋外広告」				「広報誌」 「講演・講座」 「当該分野のHP」 「イベント・集会」

【ライフスタイル属性別結果】

ライフスタイル属性別では、その実態から考え方の違いは以下の様に推察される。

【高齢層】　⇒受益感が高い

今まで払った税や保険料が「年金」や「医療」という形で、その恩恵を今まさに受けており、受益感が高いものと考えられる

【学生】　⇒受益感が高い

「教育」と言った環境の恩恵をまさに受けており、また他の属性の様に課税する対象になる可能性が低いこともあることから、受益感が高いものと考えられる

次ページに【若年層】【子育て層】【会社員・自営業・公務員等】【パート／アルバイト】の結果を記載

Web調査結果のまとめ

【若年層】 ⇒受益感が高い
税や保険料のイメージはネガティブでありながら、学生自体の受益感をまだ引き継いでおり、比較的受益感が高いと考えられる

【子育て層】 ⇒やや受益感が高い
税および保険料の負担度は大きい。しかし「子育て支援」「教育」などの弱者としての恩恵を感じていることが、保険料のイメージ(弱者に利益が還元される)をややポジティブに捉えており、やや受益感が高いものになっているものと考えられる

【会社員・自営業・公務員等】 ⇒非受益感が高い
「強化して欲しいサービス」と「還元されているサービス」との間に「医療」以外に一致しているものがなく、恩恵を受けているという実感がないと推察される
そのような状況に加えて、多くの税および保険料を納めているため、非受益感が高いものと考えられる

【パート/アルバイト】 ⇒特に非受益感が高い
会社員・自営業・公務員等と同様に、非受益感が高い
加えて、内訳として女性の割合が高いため、税のイメージや財政と社会保障に関する意見で、会社員・自営業・公務員等よりもネガティブな結果がより強くなっている

高齢層、学生、子育て層は税や保険料の恩恵を受けていると感じている(受益感が高い)

会社員・自営業・公務員等、パート/アルバイトは、税と保険料を払っているにも関わらず、公共サービスが自分の生活に還元されている実感が薄いことから非受益感が高い

財政情報の理解促進のために

基礎用語説明機会の増大

財政に関する言葉の理解度は「言葉自体を知らない」と「聞いたことがある程度」を足した非理解層は約6割となっており、依然として『非理解層』が『理解層』を上回っている状況であり、さらに財政に関する用語として基礎的な「財政」、「歳入と歳出」については約半分が『非理解』の状況となっていた。

前述の会場調査パートで挙げた様に、分からない言葉の存在は以降の理解度向上の妨げになる可能性があることから、**基礎となる言葉についてとくに繰り返し丁寧に発信し続ける**必要があると考える。